

近畿厚生局長 殿

京都大学医学部附属病院
病院長 三嶋 理

印

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	130.7人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	591人	99.9人	690.9人	看護補助者	59人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	0.2人	21.2人	理学療法士	27人	臨床検査技師	82人
薬剤師	82人	0人	82.0人	作業療法士	11人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	26人	0人	26.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	977人	32.8人	1,009.8人	臨床工学技士	22人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	2人	0.9人	2.9人	栄養士	0人	その他の技術員	131人
歯科衛生士	2人	2.3人	4.3人	歯科技工士	3人	事務職員	334人
管理栄養士	14人	1.5人	15.5人	診療放射線技師	64人	その他の職員	114人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	932.6人	18.7人	951.2人
1日当たり平均外来患者数	2,644.3人	110.9人	2,755.1人
1日当たり平均調剤数			1,824.71剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

近畿厚生局長
 24.10.5
 第1005号
 第26号

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	3人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	1人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	HBV陽性肝移植レシピエントならびにHBc抗体陽性ドナーからの肝移植後患者に対するHBVワクチン治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 HBV陽性患者に移植をする、あるいはHBc抗体陽性ドナーから移植を受けると、高率に術後HBV肝炎が生じるために、これを予防する目的で移植後患者にHBVワクチンを投与する。			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対する切開法(Radial incision and cutting)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 早期食道癌患者に対するESD、あるいは進行食道癌に対する放射線治療後に食道狭窄をしばしば来すが、これに対して、狭窄部を内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	頭頸部表在癌に対する経口的内視鏡切除術	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 頭頸部癌は早期ガンであっても今まで手術が行われていたが、これを全身麻酔下に内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	慢性B型肝炎に対するHBVワクチン療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 慢性B型肝炎については、抗ウイルス療法はあるものの、ウイルス除去は不可能である。また抗ウイルス療法は一生継続する必要がある。このため、ワクチンを使用することによって、抗ウイルス療法の終焉を期待する治療法。			
医療技術名	RNA免疫沈降法による自己抗体の解析	取扱患者数	1000人
当該医療技術の概要 RNA免疫沈降法によってRNA結合蛋白に対する自己抗体が同定される。本技術により、炎症性筋疾患の予後予測や病型分類に役立つ。全国で数か所しかルーチンで行っていない技術である。			
医療技術名	蛋白免疫沈降法による自己抗体の解析	取扱患者数	200人
当該医療技術の概要 蛋白免疫沈降法によって細胞内蛋白に対する自己抗体が同定される。本技術により、炎症性筋疾患の予後予測や病型分類に役立つ。全国で数か所しかルーチンで行っていない技術である。			
医療技術名	家族性パーキンソン病の遺伝子診断	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 パーキンソン病では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性てんかんの遺伝子診断	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 てんかんでは遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子診断	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 脊髄小脳変性症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	脳波・機能的MRI同時計測によるてんかん病態の診断	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 薬剤抵抗性てんかんにおいて、てんかん外科の術前評価として、長時間ビデオ脳波モニタリング、各種非侵襲的脳機能マッピング(脳磁図、機能的MRI)による診断を行っている。			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 ABO不適合生体肝移植術前の抗体除去目的で新鮮凍結血漿を用いた血漿交換を行った			

医療技術名	血漿交換	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 急速進行性糸球体腎炎を呈する抗糸球体基底膜抗体腎炎の抗体除去目的で新鮮凍結血漿を用いた血漿交換を行った			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肺胞出血を呈する顕微鏡的多発血管炎の抗体除去目的で新鮮凍結血漿を用いた血漿交換を行った			
医療技術名	血漿交換	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 血球貪食症候群に対して新鮮凍結血漿を用いた血漿交換を行った			
医療技術名	加齢黄斑変性に対するテーラーメイド医療	取扱患者数	約100人
当該医療技術の概要 加齢黄斑変性にみられる遺伝子多型を解析することで、加齢黄斑変性各病型の発症機序や治療に対する反応性の違いを解明し、その遺伝子多型に応じたテーラーメイド医療を実現する。			
医療技術名	高解像度光干渉断層計による緑内障の早期診断	取扱患者数	約50人
当該医療技術の概要 眼底描出力が向上したスペックルノイズ除去光干渉断層計を用いて、視野異常を認めない早期緑内障の神経線維層欠損の検出を行い、緑内障診断力の向上を図るとともに、緑内障診断プログラムの開発を行う。			
医療技術名	補償光学適用走査レーザー検眼鏡による眼底疾患の病態解析	取扱患者数	約100人
当該医療技術の概要 視細胞レベルの観察が可能な補償光学適用走査レーザー検眼鏡を用いて、既存の機器では検出不可能であった網膜視細胞・網膜神経線維束・血球動態を観察し、眼底疾患の病態解析を行う。			
医療技術名	ロボット支援下前立腺全摘術	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 ダヴィンチSサージカルシステムを使ったロボット支援下前立腺全摘除術			
医療技術名	ロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 ダヴィンチSサージカルシステムを使ったロボット支援下腎部分切除術			
医療技術名	声帯再生手術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 従来治療法がなかった声帯癒痕、溝に対し、再生医療を用いた声帯再生術を施行している。			
医療技術名	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery	取扱患者数	75人
当該医療技術の概要 内視鏡技術の発達により新たに発見されるようになった咽喉頭表在癌を経口的に切除する低侵襲手術である。			
医療技術名	経側頭骨頭蓋底外科手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 側頭骨頭蓋底に生じた病変を、広範に側頭骨を削開することにより脳実質の圧排を行わずに手術する。神経モニタ、ナビゲーションを組み合わせることで患者の負担を最小限にする。			
医療技術名	早期肺癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肺癌の呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を変えることで、常に照射野を癌に局限した状態で行う放射線治療。従来の治療法と比較して、肺癌への線量を損なうことなく、正常肺の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	穿通枝皮弁を用いた乳がん切除後の乳房再建術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 正常筋肉の犠牲を最小限にとどめながら乳がん切除後の乳房再建を行う術式			
医療技術名	頭頸部悪性腫瘍切除後のマイクロサージャリによる複雑な組織再建術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 高度なマイクロサージャリ技術を用いた頭頸部領域における皮膚、骨などの再建手術			
医療技術名	急性高度難聴患者に対する生体吸収性徐放ゲルを用いたリコンビナント・ヒト・インスリン様細胞成長因子1の内耳投与による感音難聴治療のランダム化対照試験	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 急性高度難聴の患者を対象として生体吸収性徐放ゲルを用いたリコンビナント・ヒト・インスリン様細胞成長因子1 (IGF-1含有ゼラチンハイドロゲル) 鼓室内投与による感音難聴治療の有効性及び安全性を、デキサメタゾン鼓室内投与を対照としたランダム化対照試験により評価する			
医療技術名	下肢末梢性血管疾患に対する、生体内吸収性高分子担体と塩基性線維芽細胞増殖因子 (bFGF) を用いた血管新生療法の、臨床効果および安全性に関する臨床試験	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 従来の方法では治療困難できわめて近い将来において下肢切断術が免れられない下肢末梢性血管疾患 (慢性閉塞性動脈硬化症、パーチャー病) 患者を対象として、塩基性線維芽細胞増殖因子 (Basic Fibroblast Growth Factor: bFGF) 徐放化ゼラチンハイドロゲル細粒の安全性および臨床効果を高度医療評価制度での臨床試験として評価する			

医療技術名	同種メラノーマ死細胞株を貪食した樹状細胞ワクチンとシクロホスファミドを併用した第IV期メラノーマに対する免疫療法の安全性および有効性に関する探索的臨床試験	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 第IV期メラノーマ症例に対して、死滅した同種メラノーマ細胞株を貪食しLPS(リポ多糖)で活性化した患者末梢血単球由来樹状細胞ワクチンの皮内投与を、免疫増強効果のある低用量シクロホスファミドの経口投与と併用し、安全性、臨床的有効性、実施可能性を評価する臨床試験。			
医療技術名	プラチナ抵抗性・再発卵巣癌に対するONO-4538を用いた免疫療法に関する第II相試験	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 有効な治療法の乏しいプラチナ耐性の再発・進行卵巣がんに対して、抗PD-1抗体を用いた免疫療法の医師主導治験			
医療技術名	難治性皮膚潰瘍を対象とした新規医療基材と線維芽細胞増殖因子との併用による創傷治療の安全性及び有効性に関する探索的臨床試験	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 難治性皮膚潰瘍を対象とした新規医療基材と線維芽細胞増殖因子との併用による創傷治療の安全性及び有効性に関する医師主導治験			
医療技術名	全身性強皮症患者における消化管障害に対するグレリンの臨床効果に関するクロスオーバー試験	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 全身性強皮症患者を対象として消化管障害に対するグレリンの臨床効果と安全性を評価する臨床試験			
医療技術名	薬物動態に関わる遺伝子の多型解析	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 クロバザム、ポリコナゾールなどの体内動態を予測するため、患者の血液からDNAを精製し、遺伝子型を判定する。			
医療技術名	保険算定外の薬物血中濃度測定	取扱患者数	508 検体
当該医療技術の概要 シロリムス、ミコフェノール酸、イトラコナゾール、経口分子標的抗がん薬など、治療上必要であるが保険算定外の薬物について、血中濃度測定および解析を行う。			
医療技術名	薬物動態に関わる遺伝子の多型解析	取扱患者数	76人
当該医療技術の概要 臓器移植患者におけるタクロリムスの体内動態の予測、薬物相互作用の予測のために患者の血液からDNAを抽出し、遺伝子型を判定する。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	92人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	57人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・重症筋無力症	70人	・原発性胆汁性肝硬変	81人
・全身性エリテマトーデス	420人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	48人
・再生不良性貧血	36人	・混合性結合組織病	49人
・サルコイドーシス	106人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	76人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	296人	・網膜色素変性症	143人
・特発性血小板減少性紫斑病	33人	・プリオン病	1人
・関節性動脈周囲炎	43人	・肺動脈性肺高血圧症	21人
・潰瘍性大腸炎	165人	・神経線維腫症	21人
・大動脈炎症候群	78人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	8人
・天疱瘡	18人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9人
・脊髄小脳変性症	28人	・ライゾゾーム病	0人
・クローン病	120人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	26人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	54人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	111人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	9人
・後縦靭帯骨化症	34人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	141人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ管筋腫症(LAM)	11人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	76人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	27人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	87人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。)に係るものに限る。)	・
・腋窩リンパ節郭清術実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検(触診及び画像診断の結果、腋窩リンパ節への転移が認められない乳がんに係るものであって、色素を用いて行うものに限る。)	・
・インプラント義歯	・
・顎顔面補綴	・
・超音波骨折治療法	・
・先天性難聴の遺伝子診断(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関)	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	検査部門;毎日 病理診断部門;毎日
部 検 の 状 況	部検症例数 37 例 / 部検率 9.70%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HIV-1感染・発症霊長類モデル研究：宿主内因性及び獲得免疫解析に基づく前臨床評価システムの最適化	高折 晃史	血液・腫瘍内科	2,500,000	補委 エイズ対策研究事業
APOBEC3分子のタンパク質レベルの機能性多型を基礎としたHIV-1複製抑制機構の分子基盤の解明	高折 晃史	血液・腫瘍内科	3,500,000	補委 エイズ対策研究事業
APOBEC3の生体内における機能とHIV-1感染病態に及ぼす影響の解明	高折 晃史	血液・腫瘍内科	11,570,000	補委 基盤研究(B)
RNAヘリケースMOV10によるNFκappaBの負の制御の解析	小林 正行	血液・腫瘍内科	1,820,000	補委 基盤研究(C)
好中球細胞外トラップの分子機構並びにその感染・炎症病態における役割の解明	山下 浩平	血液・腫瘍内科	1,820,000	補委 基盤研究(C)
樹状細胞における小胞機能のコントロールによる免疫制御法の開発	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,170,000	補委 基盤研究(C)
鉄代謝制御因子ヘプシジンの発現制御機構の解明	川端 浩	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委 基盤研究(C)
形質細胞様樹状細胞のエンドソーム時空間的制御に関する新規分子の網羅的探索と同定	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
特発性造血障害に関する調査研究	高折 晃史	血液・腫瘍内科	2,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
ヒトDCによる寛容誘導機構の解明、粘膜帰巢および寛容誘導特性を備えたヒトDC培養技術の確立	門脇 則光	血液・腫瘍内科	3,900,000	補委 (独)科学技術振興機構
肉腫及び膠芽腫等の難治性がんに対する(個別化)がんワクチン療法等の確立(樹状細胞ワクチンの開発)。(23-A特-44) 平家班	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,080,000	補委 (独)国立がん研究センター
脂肪蓄積による臓器機能破綻の分子基盤の解明	細田 公則	内分泌・代謝内科	42,900,000	補委 繰越 新学術領域研究(研究領域提案型)
心不全発症における転写・エピゲノム調節経路の解明とそれに基づく新規治療法の探索	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	6,890,000	補委 基盤研究(B)
腎・代謝・免疫調節因子としてのNGALの病態生理的意義の解明	森 潔	内分泌・代謝内科	9,230,000	補委 基盤研究(B)
レプチン抵抗性における細胞内シグナル異常の解明及び抗肥満薬スクリーニング系の開発	孫 徹	内分泌・代謝内科	1,950,000	補委 基盤研究(C)
循環調節ペプチド-脳性利尿ペプチド、アドレノメデュリン-の展開研究	錦見 俊雄	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 基盤研究(C)
CTGFを標的とした新規腎疾患治療の探索	横井 秀基	内分泌・代謝内科	2,860,000	補委 基盤研究(C)
メタボリック症候群関連腎症の発症・進展における内分泌因子の意義	向山 政志	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 基盤研究(C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
患者由来iPS細胞を用いた糖尿病の遺伝・病態解明と再生治療	藤倉 純二	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 基盤研究(C)
腹膜透析における新規バイオマーカーの開発と分子機序の解明	笠原 正登	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
レプチンを用いた新しいメタボリックシンドローム治療法の開発	海老原 健	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
骨系統疾患の新規治療戦略の探索	八十田 明宏	内分泌・代謝内科	910,000	補委 基盤研究(C)
酸化ストレス感受性カルシウムチャンネルTRPM2の心不全発症における意義の解明	中川 靖章	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
疾患特異的人工多能性幹細胞を用いた骨系統疾患へのCNP有効性評価システムの構築	三浦 晶子	内分泌・代謝内科	1,690,000	補委 基盤研究(C)
間葉系細胞由来ホルモンの生理作用とその破綻	中尾 一和	内分泌・代謝内科	36,400,000	補委 基盤研究(S)
ヒトiPS/ES血管誘導技術によるヒト血管分化機構の解析と疾患iPS研究への応用	曾根 正勝	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
高脂血症による糖尿病性腎症悪化の新たな分子機構:MRP8/TLR4シグナル経路	桑原 孝成	内分泌・代謝内科	2,730,000	補委 若手研究(B)
脂肪毒性および耐糖能異常での新規膜型脂肪酸受容体の膵β細胞保護作用と転写制御機構	富田 努	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
新規G蛋白共役型受容体GPR119の血糖恒常性維持における臨床的意義	小鳥 真司	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
ヒトiPS細胞を用いた脂肪萎縮症の成因の解明と細胞治療法の開発	野口 倫生	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
ヒト胚性幹細胞・誘導多能性幹細胞のステロイド産生細胞への分化機構の解明	園山 拓洋	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
レプチン抵抗性の発症および改善メカニズムの解明	日下部 徹	内分泌・代謝内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
ナトリウム利尿ペプチドの内軟骨性骨化におけるクロストーク	藤井 寿人	内分泌・代謝内科	2,470,000	補委 若手研究(B)
心筋リモデリングにおけるTRPC3/6を介したシグナルクロストークの意義の解明	木下 秀之	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 若手研究(B)
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,150,000	補委 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
脂肪蓄積による臓器機能破綻の分子基盤の解明	細田 公則	内分泌・代謝内科	27,690,000	補委 新学術領域研究
アドレノメデュリンの脂肪組織における病態生理学的意義の解明	錦見 俊雄	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 新学術領域研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
iPS細胞を用いた脂肪萎縮症の脂肪萎縮と異所性脂肪蓄積の病因・病態の解明	野口 倫生	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 新学術領域研究
脂肪細胞由来因子レプチンのエネルギー代謝調節作用における分子メカニズムの解明	海老原 健	内分泌・代謝内科	3,380,000	補委 新学術領域研究
新規遺伝子変異ラット作製技術に基づく生活習慣病・難治性疾患モデルラットの開発	中尾 一和	内分泌・代謝内科	10,000,000	補委 創薬基盤推進研究事業(創薬総合推進研究事業)
新規遺伝子変異ラット作製システムを用いた内分泌代謝病態モデルラットの開発と解析	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
ヒトiPS/E S細胞からの血管・脂肪細胞分化誘導および血管再生療法への応用	田浦 大輔	内分泌・代謝内科	900,000	補委 特別研究員奨励費
骨系統疾患における新規CNP治療に対する有効症例鑑別診断法の確立	中尾 一和	内分泌・代謝内科	13,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
中枢性摂食異常症に関する調査研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	300,000	補委 難治性疾患克服研究事業
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	中尾 一和	内分泌・代謝内科	28,750,000	補委 文部科学省(分担)
重症循環器疾患に対する生理活性ペプチドのトランスレーショナルリサーチ(動物モデルを用いた生理活性ペプチドの重症循環器疾患における役割の解明とその展開研究)	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委 (独)国立循環器病研究センター
創薬・新規医療開発のアカデミア拠点形成	中尾 一和	内分泌・代謝内科	200,000,000	補委 文部科学省
心不全の新規診断薬としてのproBNP測定系の確立と臨床応用	錦見 俊雄	内分泌・代謝内科	702,000	補委 (独)科学技術振興機構
新規カルシウムチャンネルTRPC3/6イオンチャンネルを標的とした新規心血管病治療薬の開発	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	650,000	補委 (独)科学技術振興機構
軸索髄鞘形成因子ナルディライジンの病態生理学的意義の解明	西 英一郎	循環器内科	6,630,000	補委 基盤研究(B)
マイクロRNA-33a/bによるHDLコレステロール制御機構の解明と治療への応用	尾野 亘	循環器内科	8,060,000	補委 基盤研究(B)
FCレセプター修飾による心不全と動脈硬化の治療	岸本 千晴	循環器内科	2,860,000	補委 基盤研究(C)
細胞内封入体を標的とした高齢者心不全治療法の開発	塩井 哲雄	循環器内科	910,000	補委 基盤研究(C)
遺伝性不整脈疾患の病態解明-疾患特異的ヒトiPS細胞を用いた解析	牧山 武	循環器内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
マイクロRNAの心血管疾患における役割の解明:新規治療法の開発を目指して	堀江 貴裕	循環器内科	1,820,000	補委 若手研究(B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞外ドメインシェディングによるシグナル伝達制御の病態における意義	西 英一郎	循環器内科	3,510,000	補委 新学術領域研究
新規シェディング活性化因子の交感神経一効果器ワイヤリングにおける意義の解明	大野 美紀子	循環器内科	3,510,000	補委 新学術領域研究
リーダーレスタンパク質の非古典的分泌機序の解明	西 英一郎	循環器内科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
ヒトハプロイド細胞を用いた遺伝子トラップ法による脂質異常症治療法の開発	尾野 亘	循環器内科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
特発性心筋症に関する調査研究	木村 剛	循環器内科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
イントロン性マイクロRNA-33a/bの機能解析と新規動脈硬化治療法の開発	尾野 亘	循環器内科	910,000	補委 (独) 科学技術振興機構
ペプチド、タンパク質を用いた循環器疾患治療の研究基盤構築に関する研究 (LOX-1抗体コーティングステントの有用性の検討)	木村 剛	循環器内科	1,500,000	補委 (独) 国立循環器病研究センター
遺伝学的手法を用いた循環器疾患の病態解明に関する研究 (遺伝性不整脈疾患の臨床診断、遺伝子解析、症例登録および臨床研究)	牧山 武	循環器内科	1,500,000	補委 (独) 国立循環器病研究センター
活性型ナルディライジンを標的とする新規抗体製剤の開発	西 英一郎	循環器内科	13,000,000	補委 文部科学省
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	11,000,000	補委 がん臨床研究事業
未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性及び安全性に関する多施設共同研究	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	300,000	補委 がん臨床研究事業
ヘリコバクター・ピロリ菌感染を契機とした胃発癌分子機構の解明	松本 裕子	消化器内科・内視鏡部	1,469,000	補委 研究活動スタート支援
食道がん化学放射線療法後局所遺残再発例に対するラポルフィリンナトリウム (レザフィリン) 及び半導体レーザー (PDレーザー) を用いた光線力学療法の実施第Ⅰ/Ⅱ相試験	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	63,700,000	補委 医療技術実用化総合研究事業 (臨床研究推進研究事業)
肝炎ウイルスによる発がん機構の解明に関する研究	丸澤 宏之	消化器内科・内視鏡部	2,800,000	補委 肝炎等克服緊急対策研究事業
肝炎ウイルスによる肝疾患発症の宿主要因と発症予防に関する研究	丸澤 宏之	消化器内科・内視鏡部	3,500,000	補委 肝炎等克服緊急対策研究事業
肝移植後C型肝炎に対する治療法の標準化を目指した臨床的ならびに基礎的研究	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	10,000,000	補委 肝炎等克服緊急対策研究事業
肝幹細胞への遺伝子異常が肝発癌に果たす役割の解明	丸澤 宏之	消化器内科・内視鏡部	9,750,000	補委 基盤研究 (B)
新規の致死性自己免疫性肝炎モデルを用いた肝炎劇症化に関わる腸内細菌免疫応答の解析	渡部 則彦	消化器内科・内視鏡部	1,820,000	補委 基盤研究 (C)
肝移植症例の臨床像からのB型肝炎ウイルスの感染様式の解明	上田 佳秀	消化器内科・内視鏡部	1,950,000	補委 基盤研究 (C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Gas 6による自然免疫制御が大腸癌に及ぼす影響	妹尾 浩	消化器内科・内視鏡部	1,820,000	補委 基盤研究(C)
消化器癌におけるインスリン様増殖因子活性化機構の解明と中和抗体による治療法の開発	宮本 心一	消化器内科・内視鏡部	2,210,000	補委 基盤研究(C)
炎症性腸疾患における増悪因子としての鉄の役割ー腸内細菌および鉄関連分子からの解析	松浦 稔	消化器内科・内視鏡部	1,950,000	補委 基盤研究(C)
腸内細菌由来抗原の免疫制御機能を利用したクローン病の新規治療法の開発	渡邊 智裕	消化器内科・内視鏡部	1,300,000	補委 基盤研究(C)
炎症性腸疾患におけるサイトメガロウイルスの再活性化およびその感染成立機構の解明	仲瀬 裕志	消化器内科・内視鏡部	780,000	補委 基盤研究(C)
非アルコール性脂肪肝炎の病態形成におけるJNKシグナルの機能解析	児玉 裕三	消化器内科・内視鏡部	1,300,000	補委 基盤研究(C)
炎症を背景とした消化器発癌過程におけるゲノム不安定性の生成機構の解明	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	33,020,000	補委 基盤研究(S)
C型肝炎ウイルス感染細胞による形質細胞様樹状細胞活性化機序の解明	高橋 健	消化器内科・内視鏡部	2,600,000	補委 若手研究(B)
ナルディライジンおよびADAMによる胃癌細胞の増殖シグナル制御機構の解析	米門 秀行	消化器内科・内視鏡部	1,820,000	補委 若手研究(B)
Hes 1に対するRNA干渉を用いた大腸癌増殖・分化制御の試み	上尾 太郎	消化器内科・内視鏡部	1,820,000	補委 若手研究(B)
新しい内視鏡診断機器の臨床への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する調査研究	江副 康正	消化器内科・内視鏡部	1,200,000	補委 第3次対がん総合戦略研究事業
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	2,400,000	補委 第3次対がん総合戦略研究事業
腸内細菌の刺激がCHI3L1/YKL-40を介して大腸癌悪性化に関与する機構	河田 真由美	消化器内科・内視鏡部	800,000	補委 特別研究員奨励費
新規幹細胞マーカーDcl k1を利用した大腸癌治療の基礎的検討	中西 祐貴	消化器内科・内視鏡部	700,000	補委 特別研究員奨励費
炎症性腸疾患におけるサイトメガロウイルス再活性化および感染成立機構の解明	松村 佳代子	消化器内科・内視鏡部	700,000	補委 特別研究員奨励費
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	1,500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
好酸球性食道炎/好酸球性胃腸炎の疾患概念確立と治療指針作成のための臨床研究	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	700,000	補委 難治性疾患克服研究事業
今後の難病対策のあり方に関する研究	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	10,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Hes1, Dcamk11を標的としたがん幹細胞特異的治療法の開発	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	9,000,000	補(委) 文部科学省
アルコール代謝酵素と食道多発がん・他臓器重複がんとの関連性および発症予防に関する研究班(22-36)	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	10,280,000	補(委) (独)国立がん研究センター
消化管がん内視鏡的治療法の標準化に関する研究(23-A-19)嶋田班	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	4,000,000	補(委) (独)国立がん研究センター
ヒト腸管由来株化細胞を用いたGPR120作動化合物の評価系開発	仲瀬 裕志	消化器内科・内視鏡部	1,150,000	補(委) (独)科学技術振興機構
頭頸部がん・食道がん高危険群判別用の生体ガス分析法の開発	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	1,040,000	補(委) (独)科学技術振興機構
iPS細胞を用いた難治性呼吸器疾患の病態解明と新規治療法の開発	三嶋 理晃	呼吸器内科	9,100,000	補(委) 基盤研究(A)
ヒトiPS細胞を用いた肺組織幹細胞の探索とII型肺胞上皮細胞誘導への挑戦	伊藤 功朗	呼吸器内科	2,600,000	補(委) 基盤研究(C)
遷延する慢性感染が慢性閉塞性肺疾患の免疫応答に与える影響とその機序の解明	室 繁郎	呼吸器内科	1,560,000	補(委) 基盤研究(C)
慢性炎症性気道疾患の難治化におけるキチナーゼ関連蛋白質の作用機序の解明	松本 久子	呼吸器内科	1,690,000	補(委) 基盤研究(C)
呼吸器疾患の胸部CT画像による定量的網羅的評価システムの開発と病態解明への応用	平井 豊博	呼吸器内科	1,170,000	補(委) 基盤研究(C)
結核菌特異TLR2リガンド全血刺激法による奇異反応診断の確立	今井 誠一郎	呼吸器内科	650,000	補(委) 若手研究(B)
呼吸不全に関する調査研究	三嶋 理晃	呼吸器内科	49,000,000	補(委) 難治性疾患克服研究事業
疾患特異的iPS細胞を用いた難治性疾患の画期的診断・治療法の開発に関する研究	三嶋 理晃	呼吸器内科	8,000,000	補(委) 難治性疾患克服研究事業
弾性繊維形成タンパク質を標的とした疾患診断、治療薬の開発	室 繁郎	呼吸器内科	1,500,200	補(委) (独)科学技術振興機構
炎症制御蛋白による全身性自己免疫疾患の病態解析と新規治療への展開	三森 経世	免疫・膠原病内科	5,330,000	補(委) 基盤研究(B)
抗核抗体の産生制御によるタイプIインターフェロンの変動と制御性T細胞の誘導	藤井 隆夫	免疫・膠原病内科	910,000	補(委) 基盤研究(C)
関節リウマチの重症度、治療反応性に関わる遺伝子多型の検索	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	650,000	補(委) 基盤研究(C)
関節リウマチおよびその動物モデルにおけるGM-CSF産生CD4T細胞の役割	橋本 求	免疫・膠原病内科	2,210,000	補(委) 若手研究(B)
改良型モデル抗DNA抗体ノックイン・マウスにおける自己反応性B細胞制御メカニズム	吉藤 元	免疫・膠原病内科	1,560,000	補(委) 若手研究(B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
抗シトルリン化ペプチド抗体陰性関節リウマチ患者における新規自己抗体の探索	湯川 尚一郎	免疫・膠原病内科	2,080,000	補委 若手研究 (B)
ゲノム網羅的関連解析の大規模メタ解析を基礎としたcommon diseaseのテーラーメイド医療実用化に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	1,000,000	補委 創薬基盤推進研究事業
筋症状のない皮膚筋炎における新規抗IFIH1/MDA5抗体の臨床的・病因的意義	三森 経世	免疫・膠原病内科	1,430,000	補委 挑戦的萌芽研究
新規疾患, IgG4 関連多臓器リンパ増殖性疾患 (IgG4+MOLPS) の確立のための研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	800,000	補委 難治性疾患克服研究事業
難治性血管炎に関する調査研究	藤井 隆夫	免疫・膠原病内科	890,000	補委 難治性疾患克服研究事業
自己免疫患者に関する調査研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	2,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	藤井 隆夫	免疫・膠原病内科	1,700,000	補委 難治性疾患克服研究事業
TNF受容体関連周期性症候群 (TRAPS) の病態の解明と診断基準作成に関する研究	藤井 隆夫	免疫・膠原病内科	500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確率に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	2,000,000	補委 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業治療研究事業
ストレス老化シグナルによる解糖系酵素分子制御の誘導する癌化バリアー形成の解明	近藤 祥司	老年内科	7,930,000	補委 基盤研究 (B)
アミロイドPET所見と神経心理学的検査に基づいた早期認知症患者背景疾患の分析	武地 一	老年内科	1,560,000	補委 基盤研究 (C)
健康長寿改善の技術開発のための、有効成分の経費吸収等の新手法を利用したメタボロミックな基盤的研究	近藤 祥司	老年内科	17,000,000	補委 (財) 沖縄科学技術振興センター
解糖系代謝亢進による抗老化効果を標的とした加齢生活習慣病の新規診断・治療法の開発	近藤 祥司	老年内科	1,700,000	補委 (独) 科学技術振興機構
糖尿病の超早期診断のための核磁気共鳴画像 (MRI) による膵島定量法の開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	6,240,000	補委 基盤研究 (B)
膵B細胞TBP-2の耐糖能障害における役割の解明	藤本 新平	糖尿病・栄養内科	704,171	補委 基盤研究 (C)
インクレチンによる膵β細胞増殖・抗アポトーシス作用の細胞内メカニズムの検討	清野 裕	糖尿病・栄養内科	1,170,000	補委 基盤研究 (C)
脂肪組織におけるインクレチンGIPの役割-組織特異的受容体欠損マウスの解析-	原田 範雄	糖尿病・栄養内科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
胎生期の低栄養が膵島の質的・機能的形成に及ぼす影響の解析	豊田 健太郎	糖尿病・栄養内科	1,950,000	補委 基盤研究 (C)
ATPプローブを用いた膵島、骨格筋、心筋細胞内ATP濃度リアルタイムモニタリング	長嶋 一昭	糖尿病・栄養内科	1,690,000	補委 基盤研究 (C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ミトコンドリアSIRT5タンパクの機能と肝臓・骨格筋における代謝機能連関	中村 靖彦	糖尿病・栄養内科	2,730,000	補委 若手研究(B)
β 細胞におけるSrcの役割とGPCRシグナルとの関連性	向 英里	糖尿病・栄養内科	2,210,000	補委 若手研究(B)
心臓ペースメーカー機序における細胞内Ca ²⁺ 濃度変化の寄与	姫野 友紀子	糖尿病・栄養内科	273,000	補委 若手研究(B)
移植膵島の新規三次元画像解析技術の確立	藤本 裕之	糖尿病・栄養内科	1,950,000	補委 若手研究(B)
代謝異常時の膵島内分泌細胞修飾におけるインクレチンGLPの役割の解明	濱崎 暁洋	糖尿病・栄養内科	1,690,000	補委 若手研究(B)
インクレチン刺激による β 細胞機能制御メカニズム	竹田 有加里	糖尿病・栄養内科	1,378,000	補委 研究活動スタート支援
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証 -ガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	600,000	補委 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
日本人糖尿病家族歴濃厚家系の全ゲノム連鎖解析および全エクソンシーケンスを多用した糖尿病関連遺伝子の同定	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	34,500,000	補委 創薬基盤推進研究事業(創薬バイオマーカー探索研究事業)
肥満関連疾患のアジアと米国における遺伝疫学的検討とその対策に関する研究	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	700,000	補委 地球規模保険課題推進研究事業(国際医学協力研究事業)
日本人における新生児糖尿病発症原因遺伝子異常の実態把握および遺伝子変異部位による薬効変化に関する検討	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	13,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
Exendin骨格を用いた非侵襲的膵島定量のためのPET診断用プローブの開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	86,000,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
エネルギー代謝シミュレーションを活用した安心な高度医療技術の研究開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	29,500,000	補委 (財) 先端医療振興財団
糖代謝恒常性を維持する細胞機能破綻の分子機構の解明	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	11,700,000	補委 (独) 科学技術振興機構
農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発(タンニン類に着目したリンゴ・茶の生体調節機能の医学的検証と高含有品種育成など活用に関する研究開発)	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	3,000,000	補委 (独) 農業・食品産業技術総合研究機構
敗血症における血管内皮細胞病態の解明と新規遺伝子核酸試薬の開発	小池 薫	初期診療・救急科	2,210,000	補委 基盤研究(B)
核磁気共鳴法を応用した敗血症重症化早期診断の確立と新規治療ターゲットの開拓	鈴木 崇生	初期診療・救急科	3,120,000	補委 基盤研究(C)
ウイルス性心筋炎・心筋症における心臓リンパ管新生調整因子による治療法の開発	西尾 亮介	初期診療・救急科	1,430,000	補委 基盤研究(C)
敗血症病態における画像を用いた生体内熱エネルギー動態と生体内代謝動態の可視化	佐藤 格夫	初期診療・救急科	1,040,000	補委 基盤研究(C)
軽度外傷性脳損傷後に生じる高次脳機能障害に対する多施設コホート研究	小池 薫	初期診療・救急科	3,510,000	補委 挑戦的萌芽研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳脊髄液の核磁気共鳴(NMR)計測値を用いた「急性脳症および熱性痙攣の早期鑑別診断法」の開発	小池 薫	初期診療・救急科	74,100	補(独)科学技術振興機構 委
経頭蓋的直流刺激法の皮質基底核ループへの影響 fMRI・脳波・PETによる検討	美馬 達哉	神経内科	1,430,000	補 繰越 基盤研究(C) 委
低分子化合物スクリーニングによるパーキンソン病治療薬開発	高橋 良輔	神経内科	7,150,000	補 基盤研究(B) 委
血管再生療法による脳アミロイド血管症の能動的制御とアルツハイマー病治療法の開発	猪原 匡史	神経内科	8,710,000	補 基盤研究(B) 委
グリアと神経細胞のクロストーク; てんかん焦点の広域周波数帯域脳波と画像解析	池田 昭夫	神経内科	2,860,000	補 基盤研究(C) 委
大脳基底核及び小脳の障害によって生じる神経ネットワークの機能異常の解明	澤本 伸克	神経内科	2,470,000	補 基盤研究(C) 委
ガンマセクレターゼのアロステリック構造変化を利用したアルツハイマー治療研究	植村 健吾	神経内科	2,210,000	補 基盤研究(C) 委
意識変容にかかわるネットワークの機能動態の解明	松本 理器	神経内科	2,470,000	補 基盤研究(C) 委
HtrA2ノックアウトマウスにおけるHtrA2基質蛋白蓄積と基底核回路断裂の解析	伊東 秀文	神経内科	1,170,000	補 基盤研究(C) 委
パーキンソン病患者のミトコンドリア異常におけるOmi/HtrA2の役割の解明	河本 恭裕	神経内科	1,300,000	補 基盤研究(C) 委
筋萎縮性側索硬化症におけるマイクログリアの貪食機能評価と抗原処理機構の解明	山下 博史	神経内科	1,950,000	補 若手研究(B) 委
てんかんの有病率等に関する疫学研究及び診療実態の分析と治療体制の整備に関する研究	池田 昭夫	神経内科	500,000	補 障害者対策総合研究事業 委
筋萎縮性側索硬化症患者由来疾患モデル細胞を用いた病態解明と治療法開発	高橋 良輔	神経内科	39,000,000	補 障害者対策総合研究事業 委
遺伝性パーキンソン病動物モデルに基づく選択的ドパミン神経変性のメカニズムの解明	高橋 良輔	神経内科	739,965	補 新学術領域研究 委
脳内環境: 恒常性維持機構とその破綻	高橋 良輔	神経内科	9,880,000	補 新学術領域研究 委
タンパク分解系障害による脳内環境変動と神経変性メカニズム	高橋 良輔	神経内科	51,220,000	補 新学術領域研究 委
遺伝性血管性認知症CADASIL患者由来iPS細胞とモデル動物を用いた治療法探索	猪原 匡史	神経内科	3,770,000	補 挑戦的萌芽研究 委
疾患特異的iPS細胞を用いた難治性疾患の画期的診断・治療法の開発に関する研究	高橋 良輔	神経内科	8,000,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
神経変性疾患に関する調査研究	高橋 良輔	神経内科	3,500,000	補 難治性疾患克服研究事業 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
iPS細胞と剖検脳を用いた筋萎縮性側索硬化症に対する新規治療法の開発	伊東 秀文	神経内科	2,180,000	補(独)科学技術振興機構 委
アドレノメデュリンによるアルツハイマー病の血管-神経再生療法	猪原 匡史	神経内科	524,226	補(独)科学技術振興機構 委
家族性パーキンソン病多重遺伝子変異モデルの製作と解析	高橋 良輔	神経内科	43,745,000	補(独)科学技術振興機構 委
てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究	池田 昭夫	神経内科	1,150,000	補(独)国立精神・神経医療研究センター 委
血管性認知症の病態解明と診断法、予防・治療法の開発	猪原 匡史	神経内科	3,000,000	補独立行政法人国立長寿医療研究センター 委
加齢と腎障害を架橋する新規シグナル伝達経路の解明	松原 雄	腎臓内科	1,560,000	補緑越 若手研究 委 (B)
高血圧および腎障害進展リスクとしての低ネフロン数出生の分子基盤を探る	深津 敦司	腎臓内科	910,000	補基盤研究 (C) 委
慢性腎臓病の線維化、ホルモン分泌、再生を担う細胞群の同定とその制御法の開発	柳田 素子	腎臓内科	96,096,000	補独立行政法人日本学術振興会 委 先端研究助成基金助成金
内視鏡下リンパ節転移診断確立のための基礎研究	坂井 義治	消化管外科	1,300,000	補基盤研究 (C) 委
腫瘍セルライン樹立効率の向上: 癌幹細胞機構を基礎として	姜 貴嗣	消化管外科	1,300,000	補基盤研究 (C) 委
胃癌におけるCFL1発現の臨床病理学的意義とその分子機構の解析	角田 茂	消化管外科	2,470,000	補若手研究 (B) 委
新規RhoファミリーG蛋白質活性化因子DOCK4を介した大腸癌進展機構の解析	河田 健二	消化管外科	1,690,000	補若手研究 (B) 委
新規癌抑制遺伝子Prox1: 遺伝子改変マウスの解析	大越 香江	消化管外科	1,560,000	補若手研究 (B) 委
OCT3/4及びSOX2による癌幹細胞能力と癌転移能の誘導	大嶋 野歩	消化管外科	700,000	補特別研究員奨励費 委
さらなる低侵襲性や機能温存を目指した内視鏡下手術の開発(23-A-26)小管班	坂井 義治	消化管外科	800,000	補(独)国立がん研究センター 委
抗がん剤効果予測による乳がん患者の再発リスク抑制と毒性軽減および医療経済負担低減に関する検証的研究	戸井 雅和	乳腺外科	14,500,000	補がん臨床研究事業 委
薬物動態・薬理遺伝学に基づいたテーラーメイド抗がん剤治療の標準治療化に関する研究	石黒 洋	乳腺外科	1,040,000	補緑越 基盤研究 (C) 委
ニューロピリン-1発現ナチュラルキラー細胞の乳癌治療における意義に関する研究	鈴木 栄治	乳腺外科	1,690,000	補研究活動スタート支援 委
光超音波マンモグラフィにおける乳がん診断基準の整備と高機能化のための光帯域PATプローブの開発	戸井 雅和	乳腺外科	60,934,000	補医療技術実用化総合研究事業(臨床研究推進研究事業) 委

小計
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌患者における血中循環癌細胞の特性解析と癌転移動態の分析に関する研究	戸井 雅和	乳腺外科	5,460,000	補委 基盤研究(B)
乳癌のホルモン療法施行時における細胞内エネルギー調節に関する研究	上野 貴之	乳腺外科	1,170,000	補委 基盤研究(C)
ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた乳房再建のための脂肪組織再生	辻 和香子	乳腺外科	650,000	補委 若手研究(B)
癌におけるDNAヒドロキシメチル化の意義の解明	佐藤 史顕	乳腺外科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
ERβ陽性トリプルネガティブ乳癌に対するホルモン療法の探索研究	佐治 重衡	乳腺外科	1,300,000	補委 挑戦的萌芽研究
原発性乳癌の新しい診療アルゴリズムに関する研究	高田 正泰	乳腺外科	700,000	補委 特別研究員奨励費
γδ型T細胞を標的とした癌免疫療法の開発	戸井 雅和	乳腺外科	18,000,000	補委 文部科学省(分担)
血中循環乳がん細胞に対するエピジェネティクス・マルチマーカーの実用化開発	戸井 雅和	乳腺外科	6,500,000	補委 文部科学省
乳がんに対するトラスツズマブ感受性予測DNAチップの検証開発	戸井 雅和	乳腺外科	13,000,000	補委 (独) 科学技術振興機構
肝移植後C型肝炎に対する治療法の標準化を目指した臨床的ならびに基礎的研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	34,580,000	補委 肝炎等克服緊急対策研究事業
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	150,000	補委 がん臨床研究事業
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(Phase I/IIおよびPhase III)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	波多野 悦朗	肝胆膵・移植外科	800,000	補委 がん臨床研究事業
一酸化窒素を用いた過少グラフト肝移植に対する新しい治療戦略	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	1,469,000	補委 研究活動スタート支援
肝移植/臓器移植における凝固・線溶系異常の病態解明と新規治療法の開発	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	8,970,000	補委 基盤研究(B)
免疫応答修飾による肝移植後線維化の制御戦略	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	9,360,000	補委 基盤研究(B)
グルコース依存性インスリン刺激ポリペプチドの膵発生と膵癌進展における基盤的研究	小泉 将之	肝胆膵・移植外科	3,250,000	補委 基盤研究(C)
ポリフェノールを用いた移植膵島に対する免疫反応の抑制	岩永 康裕	肝胆膵・移植外科	910,000	補委 基盤研究(C)
急性膵炎後の膵再生機構の解明—膵転写因子ptf1aに着目して—	増井 俊彦	肝胆膵・移植外科	780,000	補委 基盤研究(C)
腫瘍血管新生と低酸素環境を軸としたテーラーメイド癌治療法の創出	森 章	肝胆膵・移植外科	1,300,000	補委 基盤研究(C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心停止ドナーを用いた肝移植に対する新しい治療戦略－温粗血時間の限界への挑戦	小倉 靖弘	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補委 基盤研究 (C)
肝虚血再灌流障害における新しいメカニズムの解明－T細胞の役割について－	内田 洋一朗	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
肝移植におけるスタチン系薬剤のグラフト機能保護効果に関する研究	飯田 拓	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補委 若手研究 (B)
iPS細胞から機能性肝細胞への分化誘導法の確立；細胞移植治療を目指して	石井 隆道	肝胆膵・移植外科	1,300,000	補委 若手研究 (B)
水素水による肝線維化治療戦略	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	2,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
γδ型T細胞を標的とした癌免疫療法の開発	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	12,000,000	補委 文部科学省 (分担)
アカデミアのIR拠点が創出する肝臓移植確立のための戦略的アプローチ②新規免疫抑制療法を併用する臨床肝臓移植の開発 (京都大学における肝臓分離および新規免疫抑制療法を用いた肝臓移植技術の開発)	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	5,583,164	補委 文部科学省
成熟血管新生治療のための徐放化DDS開発	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	3,000,000	補委 文部科学省 (分担)
臓器移植分野に関する学術研究動向調査研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	1,870,000	補委 (独) 日本学術振興会
ヒト分離肝臓提供ネットワーク構築のための動物実験実施業務	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	2,500,000	補委 (公) 福島県立医科大学
小児肝移植医療の標準化に関する研究	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	2,000,000	補委 (独) 国立成育医療研究センター
波長走査型光干渉断層計を用いた緑内障視神経乳頭深部構造変化による病態解析	赤木 忠道	眼科	1,469,000	補委 研究活動スタート支援
加齢黄斑変性に対するテーラード医療の実現	吉村 長久	眼科	8,970,000	補委 基盤研究 (A)
血液細胞－血管内皮相互反応制御及び低酸素イメージングによる眼虚血性疾患の病態解明	宮本 和明	眼科	4,290,000	補委 基盤研究 (B)
網膜色素変性症に対する骨髄由来幹細胞薬剤賦活と低線量・低線量率放射線治療の実現	大谷 篤史	眼科	4,087,798	補委 基盤研究 (B)
補償光学適用走査レーザー検眼鏡による緑内障性神経線維束障害の解析	板谷 正紀	眼科	1,820,000	補委 基盤研究 (C)
補償光学適応走査型レーザー検眼鏡を用いた糖尿病網膜毛細血管での循環動態の解析	辻川 明孝	眼科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
光干渉断層計による近視視神経乳頭の構造解析と近視緑内障の診断プログラムの開発	野中 淳之	眼科	1,040,000	補委 基盤研究 (C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
補償光学適用走査レーザー検眼鏡による萎縮型加齢黄斑変性の病態解析と治療評価開発	大音 壮太郎	眼科	2,210,000	補委 若手研究 (B)
補償光学適応走査型レーザー検眼鏡を用いた虚血性黄斑症の病態解析	宇治 彰人	眼科	2,210,000	補委 若手研究 (B)
血管内皮増殖因子およびその受容体の遺伝子多型を用いた加齢黄斑変性の個別化治療	山城 健児	眼科	1,690,000	補委 若手研究 (B)
タイムラプス観察を用いた網膜血管新生のダイナミズムを制御する新規分子機構の解明	村上 智昭	眼科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
加齢黄斑変性治療のもたらす総合的なQOL改善効果と経済効率性の評価	田村 寛	眼科	1,690,000	補委 若手研究 (B)
緑内障に対する神経保護剤による新たな治療法の開発	池田 華子	眼科	1,560,000	補委 若手研究 (B)
一塩基多型による加齢黄斑変性の臨床症状の差異	大石 明生	眼科	1,690,000	補委 若手研究 (B)
加齢黄斑変性に対する個別化医療実現のための前向き臨床研究にもとづくゲノムワイド関連解析	吉村 長久	眼科	23,214,000	補委 障害者対策総合研究事業(感覚器障害分野)
ヒト胚子先天異常・画像データベース	山田 重人	産科婦人科	3,900,000	補委 研究成果データベース
卵巣癌播種性転移における癌細胞”進化”のゲノムワイド解析とその臨床応用	小西 郁生	産科婦人科	3,380,000	補委 基盤研究 (B)
胚特異的糖鎖抗原を介した母体の胚認識および胚着床・胎盤形成誘導機構の解析	藤原 浩	産科婦人科	7,150,000	補委 基盤研究 (B)
胎児期の発育障害に起因するメタボリック症候群の発症機序解明とその予防戦略の開発	由良 茂夫	産科婦人科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
母体血小板と絨毛細胞の相互作用: P1H、IUGRの病因解明をめざして	佐藤 幸保	産科婦人科	1,430,000	補委 基盤研究 (C)
ヒト胎盤に発現するニューロトロフィンの役割と胎児発育におけるその意義	巽 啓司	産科婦人科	1,170,000	補委 基盤研究 (C)
卵巣癌の腹腔内免疫環境と化学療法の相互作用の解析に基づいた免疫療法の構築	万代 昌紀	産科婦人科	650,000	補委 基盤研究 (C)
卵膜を介した胎児・母体間クロストークの分子機構の解析	角井 和代	産科婦人科	1,170,000	補委 基盤研究 (C)
胎児予備能の許容限界の解明を目指した重症胎児発育不全における炎症関連分子の解析	近藤 英治	産科婦人科	1,690,000	補委 若手研究 (B)
卵巣癌におけるモルフォゲンシグナルのシステム生物学的解析による治療開発	吉岡 弓子	産科婦人科	1,560,000	補委 若手研究 (B)
Bioinformaticsによる、卵巣明細胞腺癌における代謝異常の解明	松村 謙臣	産科婦人科	2,210,000	補委 若手研究 (B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
タイプ2子宮体癌、特に漿液性腺癌の網羅的遺伝子発現解析に基づく分子標的治療薬開発	馬場 長	産科婦人科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
卵巣癌の腫瘍局所における包括的な免疫環境の解析と治療応用への基礎的研究	濱西 潤三	産科婦人科	1,300,000	補委 若手研究 (B)
新しいマイクロイメージング技術EFICを用いたヒト胚子発生過程の三次元画像解析	山田 重人	産科婦人科	1,300,000	補委 若手研究 (B)
卵巣癌幹細胞は卵巣癌細胞の「iPS化」により生じるか	小阪 謙三	産科婦人科	1,690,000	補委 挑戦的萌芽研究
卵巣癌の薬剤獲得耐性における「進化」を標的とした治療法の開発	鈴木 彩子	産科婦人科	1,170,000	補委 挑戦的萌芽研究
網羅的遺伝子発現解析に基づく卵巣癌幹細胞に特異的な免疫療法の開発	小西 郁生	産科婦人科	2,730,000	補委 挑戦的萌芽研究
グリア幹細胞由来因子を用いた生殖臓器の組織再構築誘導の試み	藤原 浩	産科婦人科	3,770,000	補委 挑戦的萌芽研究
「つわり」は葉酸添加ガムで治せるか？ —新たな代替療法の検証—	菅沼 信彦	産科婦人科	2,470,000	補委 挑戦的萌芽研究
がん免疫逃避機構を標的にした次世代型免疫治療の臨床応用と新規バイオメーカーの探索	小西 郁生	産科婦人科	5,500,000	補委 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化研究事業 (がん関係研究分野)
卵巣癌に対する新たな標準的治療法の確立を目指した研究 (23-A-17) 飛内班	小西 郁生	産科婦人科	1,100,000	補委 (独) 国立がん研究センター
小児急性骨髄性白血病 (AML) に対する標準的治療法の確立	足立 壯一	小児科	17,500,000	補委 がん臨床研究事業
小児がんの罹患数把握および晩期合併症・二次がんの実態把握のための長期フォローアップセンター構築に関する研究	足立 壯一	小児科	600,000	補委 がん臨床研究事業
iPS細胞による Schwachman-Diamond 症候群の発症機構・治療基盤研究	渡邊 健一郎	小児科	1,560,000	補委 緑越 基盤研究 (C)
iPS細胞による心筋細胞治療の基盤研究と疾患特異的 iPS細胞を用いた心機能解析	鷄内 伸二	小児科	1,690,000	補委 緑越 若手研究 (B)
白血病の中樞神経を含んだ骨髄内外における白血病微小環境の解析に関する研究	加藤 格	小児科	1,690,000	補委 研究活動スタート支援
自己炎症性疾患に対する新たな分子細胞生物学的手法を駆使した病態解明・治療基盤開発	平家 俊男	小児科	17,290,000	補委 基盤研究 (A)
細胞工学的手法による CINCA 症候群の病態の解明それに基づく治療法の開発	西小森 隆太	小児科	5,590,000	補委 基盤研究 (B)
難治性血液腫瘍疾患に対する新規治療法の開発と新規細胞死機序の探索	足立 壯一	小児科	9,230,000	補委 基盤研究 (B)
iPS細胞による Schwachman-Diamond 症候群の発症機構・治療基盤研究	渡邊 健一郎	小児科	1,170,000	補委 基盤研究 (C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
学童の食習慣、生活習慣とアレルギー疾患の進展に関する前向き研究	楠 隆	小児科	650,000	補委 基盤研究 (C)
家族性血球貪食症候群の迅速診断法確立と細胞工学的手法を用いた病態解明	八角 高裕	小児科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
ヒトES/iPS細胞に由来する骨格筋幹・前駆細胞の分離技術の確立	粟屋 智就	小児科	2,730,000	補委 若手研究 (B)
iPS細胞による心筋細胞治療の基盤研究と疾患特異的iPS細胞を用いた心機能解析	鶏内 伸二	小児科	1,547,000	補委 若手研究 (B)
筋ジストロフィー症に対する次世代治療開発基盤の確立	平家 俊男	小児科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
急性骨髄性白血病の微少残存病変検出システムの確立と白血病幹細胞の同定	足立 壯一	小児科	4,381,000	補委 挑戦的萌芽研究
日本人特有の病態を呈する高IgD症候群に向けた新規診療基盤の確立	平家 俊男	小児科	13,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
Cypropryn-associated periodic syndromeの治療薬としてアナキンラ承認を目指した医師主導治験	西小森 隆太	小児科	13,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
疾患特異的iPS細胞を用いた難治性疾患の画期的診断・治療法の開発に関する研究	平家 俊男	小児科	10,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
ダウン症候群でみられる一過性骨髄異常増殖症の重症度分類のための診断基準と治療指針の作成に関する研究	渡邊 健一郎	小児科	300,000	補委 難治性疾患克服研究事業
先天性好中球減少症の効果的診断方法の確率と治療ガイドライン	渡邊 健一郎	小児科	700,000	補委 難治性疾患克服研究事業
外胚葉形成不全免疫不全症の実態調査と治療ガイドラインの作成	西小森 隆太	小児科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
エカルディ-グティエール症候群等のピオプテリン代謝異常を伴う疾患の診断方法確率および治療法開発のための横断的研究	平家 俊男	小児科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	平家 俊男	小児科	2,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
インターロイキン1受容体関連キナーゼ4 (IRAK4) 欠損症の全国症例数把握及び早期診断スクリーニング・治療法開発に関する研究	西小森 隆太	小児科	1,250,000	補委 難治性疾患克服研究事業
NOD2変異に関連した全身性炎症性肉芽種性疾患	西小森 隆太	小児科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
Cypropryn-associated periodic syndrome (CAPS) に対する細胞分子生物学的手法を用いた診療基盤技術の開発	平家 俊男	小児科	2,400,000	補委 難治性疾患克服研究事業
患者検体および患者由来iPS細胞を用いた広汎性発達障害のエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	2,080,000	補委 (独) 科学技術振興機構
筋ジストロフィーに対するトランスレーショナル・リサーチ	平家 俊男	小児科	2,700,000	補委 (独) 国立精神・神経医療研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨髄移植モデルを用いたGVHD及び接触皮膚炎の病態解明	江川 形平	皮膚科	2,080,000	補委 緑越 若手研究 (B)
アトピー性皮膚炎における新規ThサブセットTh17及びTh22の役割の解明	本田 哲也	皮膚科	2,470,000	補委 緑越 若手研究 (B)
マウスループスにおけるSLAMファミリー分子の役割についての研究	鬼頭 昭彦	皮膚科	1,170,000	補委 緑越 若手研究 (B)
皮膚樹状細胞の定常状態・各刺激時におけるリアルタイム動態解析	谷崎 英昭	皮膚科	1,469,000	補委 研究活動スタート支援
アクアポリン3の腫瘍形成および細胞増殖への関与と機序解明	竹馬 真理子	皮膚科	910,000	補委 基盤研究 (C)
悪性黒色腫に対する新規細胞療法における制御性免疫細胞の関与の解明	谷岡 未樹	皮膚科	2,210,000	補委 若手研究 (B)
骨髄移植モデルを用いたGVHD及び接触皮膚炎の病態解明	江川 形平	皮膚科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
アトピー性皮膚炎における新規ThサブセットTh17及びTh22の役割の解明	本田 哲也	皮膚科	1,560,000	補委 若手研究 (B)
免疫・アレルギー性皮膚疾患と脂質メディエーター	宮地 良樹	皮膚科	25,090,000	補委 新学術領域研究
アトピー性皮膚炎の発症における皮膚樹状細胞・T細胞サブセットの役割の解明	中島 (藤川) 沙恵子	皮膚科	700,000	補委 特別研究員奨励費
好酸球性膿疱性毛包炎の病態解明と新病型分類の提言	宮地 良樹	皮膚科	13,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	谷崎 英昭	皮膚科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成	山本 洋介	皮膚科	400,000	補委 難治性疾患克服研究事業
肥厚性皮膚骨膜炎における遺伝子診断と生化学的検査を踏まえた新しい病型分類の提言と既存治療法の再評価に関する研究	大塚 篤司	皮膚科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
難治性慢性痒疹・皮膚そう痒症の病態解析及び診断基準・治療指針の確立	宮地 良樹	皮膚科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
弾性線維性仮性黄色腫の病態把握ならびに診断基準作成	谷岡 未樹	皮膚科	500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
金属アレルギーの革新的診断・予防・治療法の開発研究	宮地 良樹	皮膚科	2,000,000	補委 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	小川 修	泌尿器科	150,000	補委 がん臨床研究事業
ILK-GSK3β経路を利用したハイリスク膀胱癌への新規分子標的治療の確立	松井 喜之	泌尿器科	1,469,000	補委 研究活動スタート支援

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HIFを介さないVHL制御機構解析による腎癌に対する分子標的治療抵抗性の克服	山崎 俊成	泌尿器科	1,950,000	補委 研究活動スタート支援
次世代質量分析による癌個別的ゼノグラフトの双方向的解析からの革新的診断治療シース	小川 修	泌尿器科	17,030,000	補委 基盤研究 (A)
先天性過活動膀胱モデル動物としてのTNF α ノックアウトマウスの解析	今村 正明	泌尿器科	2,210,000	補委 基盤研究 (C)
腎細胞癌のマトリックス・リモデリング制御機構に着目した個別化抗血管新生療法の検討	神波 大己	泌尿器科	910,000	補委 基盤研究 (C)
核マトリックス蛋白質に基づくホルモン不応性前立腺癌の新規標的分子の探索	井上 貴博	泌尿器科	910,000	補委 基盤研究 (C)
GAPを介した泌尿器癌転移の分子機序の解明	大久保 和俊	泌尿器科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
尿中分泌miRNAを用いた新規前立腺癌バイオマーカーの探索	小川 修	泌尿器科	1,430,000	補委 挑戦的萌芽研究
癌微小環境に着目した去勢抵抗性前立腺癌の新規腫瘍マーカー及び治療標的の探索	清水 洋祐	泌尿器科	2,210,000	補委 挑戦的萌芽研究
住民検診コホートによる夜尿症原因遺伝子の探索研究	吉村 耕治	泌尿器科	2,210,000	補委 挑戦的萌芽研究
前立腺癌のゲノムワイド関連解析	赤松 秀輔	泌尿器科	700,000	補委 特別研究員奨励費
膀胱発達に關与するシグナル分子についての研究	沖波 武	泌尿器科	700,000	補委 特別研究員奨励費
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療(前立腺癌の疾患感受性、治療反応性、および治療随伴副作用予測に関する遺伝子多型解析)	小川 修	泌尿器科	5,000,000	補委 文部科学省
コンフォーカルマイクロエンドスコープを用いた新しい内耳遺伝子導入方法の開発	田浦 晶子	耳鼻咽喉科	2,730,000	補委 基盤研究 (C)
ヒト多能性幹細胞から有毛細胞分化誘導の高効率化	戎 富美	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委 基盤研究 (C)
頭頸部表在癌の発現プロファイリングによる治療戦略の確立	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 基盤研究 (C)
声帯の粘膜再生:組織幹細胞の同定と再生への応用	平野 滋	耳鼻咽喉科	910,000	補委 基盤研究 (C)
内耳疾患特異的iPS細胞を用いた新しい内耳病態解析モデルの確立	中川 隆之	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
質量顕微鏡による甲状腺癌未分化転化の網羅的解析	北村 守正	耳鼻咽喉科	1,170,000	補委 基盤研究 (C)
内耳発生メカニズムの解明と再生医療への応用	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	64,168,000	補委 基盤研究 (S)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アクチン構造様式に着目した難聴の分子メカニズム解明	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	12,220,000	補委 若手研究(A)
Establish Stem Cells From Adult Cochlea	Lou Xi angxin	耳鼻咽喉科	2,600,000	補委 若手研究(B)
内耳感覚上皮の網羅的遺伝子発現プロファイリングと再生への応用	山本 典生	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委 若手研究(B)
ヘッジホッグシグナルによる中耳・外耳発生制御機構	嘉田 真平	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委 若手研究(B)
内耳薬物投与システムを応用した感音難聴、耳鳴り治療技術の臨床応用	中川 隆之	耳鼻咽喉科	15,048,000	補委 障害者対策総合研究事業(感覚器障害分野)
MEMS/NEMS 人工聴覚器による感音難聴治療法開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	10,461,000	補委 障害者対策総合研究事業(感覚器障害分野)
内耳欠損マウス胚への幹細胞注入による内耳組織の誘導	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委 挑戦的萌芽研究
細胞移植による聴神経機能再生の可視化の試み	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委 挑戦的萌芽研究
GJB2変異による劣性遺伝難聴の全国的実態把握	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	6,500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
前庭機能異常に関する調査研究	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 難治性疾患克服研究事業
京都大学 iPS細胞研究統合推進拠点	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	17,250,000	補委 文部科学省(分担)
間葉系細胞を分化誘導した再生骨格筋の機能的有効性と安全性の研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	7,478,500	補委 (独) 医薬基盤研究所
内耳観察用ファイバー型三次元画像診断装置の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	887,733	補委 株式会社ニデック(経産省再委託)
筋骨格モデルを用いた順動力学的評価に基づく新たなリハビリテーションシステムの開発	坪山 直生	整形外科	800,000	補委 線越 挑戦的萌芽研究
テーラーメイド型運動器デバイスの技術開発および探索的臨床応用研究	中村 孝志	整形外科	38,610,000	補委 医療技術実用化総合研究事業(臨床研究推進研究事業)
変形性関節症における軟骨分化マスター因子SOX9の病態関与と新規治療への基盤研究	秋山 治彦	整形外科	14,300,000	補委 基盤研究(A)
軟骨幹細胞をモチーフとしたマルチモデルリハビリテーション手法の確立	青山 朋樹	整形外科	8,840,000	補委 基盤研究(B)
高齢者の転倒予防を目的としたセミオーダーメイド型運動介入の確立	坪山 直生	整形外科	4,160,000	補委 基盤研究(B)
イヌでの骨髄間葉系幹細胞移植した血管柄含有チューブ内での神経再生	柿木 良介	整形外科	2,340,000	補委 基盤研究(C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
膝関節骨軟骨移植術における光学的断層像による軟骨イメージングの試み	小林 雅彦	整形外科	3,250,000	補委 基盤研究 (C)
SDF-1/CXCR4シグナルの関節軟骨変性における役割の解明	伊藤 宣	整形外科	1,560,000	補委 基盤研究 (C)
熱溶融積層法により造形した生体内吸収性四次元骨修復材料の開発	藤林 俊介	整形外科	910,000	補委 基盤研究 (C)
骨移植不要の椎間固定材料としての表面処理多孔体チタンの骨形成能の比較研究	根尾 昌志	整形外科	650,000	補委 基盤研究 (C)
Sox9-CreERT2マウスを用いた脊椎椎間板症の病態解明と新規治療薬の開発	宗 和隆	整形外科	1,560,000	補委 若手研究 (B)
変形性関節症におけるメカノチャネルTRPV4の病態関与と新規治療を目指した研究	山本 浩司	整形外科	2,080,000	補委 若手研究 (B)
筋骨格モデルを用いた順動力学的評価に基づく新たなリハビリテーションシステムの開発	坪山 直生	整形外科	1,040,000	補委 挑戦的萌芽研究
骨細胞におけるメカニカルストレス応答因子の探索による骨萎縮治療の基盤研究	秋山 治彦	整形外科	2,080,000	補委 挑戦的萌芽研究
血漿・関節液・尿・唾液中マイクロRNAを用いた骨軟骨・靭帯損傷の診断と病態解析	吉富 啓之	整形外科	1,560,000	補委 挑戦的萌芽研究
後縦靭帯骨化症の発症に関与する疾患関連遺伝子の検索、異所性骨化機序の解明	岡本 健	整形外科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	根尾 昌志	整形外科	500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
我が国における関節リウマチ治療の標準化に関する多層的研究	伊藤 宣	整形外科	1,000,000	補委 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
再生医療実用化を促進するセルプロセンシングセンター運用のための人材育成プロジェクト	青山 朋樹	整形外科	10,000,000	補委 臨床研究基盤整備推進研究事業
骨関節疾患治療におけるSLM技術を用いたテーラード型デバイスの開発	藤林 俊介	整形外科	8,608,492	補委 佐川印刷株式会社
リアルタイムfMRIを用いたバイオフィードバック法による精神科ニューロリハビリテーションへの応用	高橋 英彦	精神科神経科	100,000	補委 H21-障害者対策総合研究事業(身体・知的等障害分野)
統合失調症の社会性障害に関するマルチモーダル神経画像研究	村井 俊哉	精神科神経科	6,760,000	補委 基盤研究 (B)
道徳的・司法的判断に関する認知神経科学的研究	高橋 英彦	精神科神経科	11,830,000	補委 若手研究 (A)
認知行動療法によるうつ病の治癒過程における脳構造・機能変化の解明	山崎 信幸	精神科神経科	1,430,000	補委 若手研究 (B)
脳局所損傷と瀰漫性軸索損傷の症候学研究 <拡散テンソル強調画像を応用して>	上田 敬太	精神科神経科	2,340,000	補委 若手研究 (B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
コネクティブティ解析による統合失調症の意思決定プロセスと症状の神経基盤の解明	宮田 淳	精神科神経科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
発達障害の特性分布の掌握と多特性複合の客観的指標の開発	船曳 康子	精神科神経科	910,000	補委 若手研究 (B)
精神・神経疾患における熟慮的および直感的意思決定障害の脳内基盤の解明	高橋 英彦	精神科神経科	21,970,000	補委 新学術領域研究
不登校リカバリー群の社会的予後に関する縦断的研究	十一 元三	精神科神経科	1,300,000	補委 挑戦的萌芽研究
情動的意志決定における脳内分子メカニズムの解明	高橋 英彦	精神科神経科	11,700,000	補委 (独) 科学技術振興機構
生理活性物質を用いた硬組織再生のトランスレーションリサーチ	別所 和久	歯科口腔外科	4,420,000	補委 基盤研究 (B)
ビスフォスフォネート関連顎骨壊死の診断・予防に骨代謝マーカーを応用する研究	後藤 和久	歯科口腔外科	2,860,000	補委 基盤研究 (C)
ナノ磁性粒子遺伝子導入法による骨再生	園部 純也	歯科口腔外科	2,730,000	補委 基盤研究 (C)
歯数制御による歯牙再生に関する分子生物学的研究	高橋 克	歯科口腔外科	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
Id 2 遺伝子欠損マウスを用いた顎変形症に関する分子生物学的研究	塚本 容子	歯科口腔外科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
歯牙再生のための歯上皮細胞の由来に関する研究	HUANG, B.	歯科口腔外科	900,000	補委 特別研究員奨励費
BMP拮抗分子USAG-1とBMP-7の歯数制御による歯牙再生	高橋 克	歯科口腔外科	1,700,000	補委 (独) 科学技術振興機構
超音波振動切削理論を用いた新規歯科口腔外科用切削器具の開発	藤村 和磨	歯科口腔外科	585,000	補委 (独) 科学技術振興機構
難治がんの治療成績向上を目指した革新的放射線治療技術の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	29,380,000	補委 基盤研究 (S)
動態下における強度変調放射線治療の安全性に関する基礎的検討	中村 光宏	放射線治療科	1,950,000	補委 若手研究 (B)
肝臓癌に対する体幹部定位放射線治療の実施手法確立に向けた研究	松尾 幸憲	放射線治療科	1,820,000	補委 若手研究 (B)
モンテカルロ法を用いた高精度四次元線量計算システムの開発	石原 佳知	放射線治療科	700,000	補委 特別研究員奨励費
がんの超早期局在診断に対応した高精度X線治療システム研究開発	平岡 眞寛	放射線治療科	71,278,000	補委 (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構
放射線治療を含む標準治療確立のための研究 (23-A-21) 伊藤班	平岡 眞寛	放射線治療科	500,000	補委 (独) 国立がん研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
工業標準化推進事業委託費(戦略的国際標準化推進事業(国際標準共同研究開発事業:4次元放射線治療に関する国際標準化))	平岡 真寛	放射線治療科	3,607,501	補委 経済産業省
最先端MRI機能画像診断を用いた不妊・習慣性流産の病態解明及び生殖医療支援	富樫 かおり	放射線診断科	2,600,000	補委 基盤研究(B)
肝臓における非造影MR perfusion画像の確立とその臨床的有用性の検討	磯田 裕義	放射線診断科	910,000	補委 基盤研究(C)
高分解能・高感度型乳腺用PET装置による乳癌の診断	中本 裕士	放射線診断科	910,000	補委 基盤研究(C)
超高磁場MRIによる超高分解能拡散テンソル・磁化率強調画像を用いた脳アトラス作成	山本 憲	放射線診断科	2,990,000	補委 基盤研究(C)
MRIを用いた線維化組織の可視化に関する研究	木戸 晶	放射線診断科	3,250,000	補委 若手研究(B)
縦隔病変に対する拡散強調像の有用性の検討	梅岡 成章	放射線診断科	1,300,000	補委 若手研究(B)
実際の撮像環境条件をも含んだMRIバルスシーケンスシミュレーションシステムの構築	藤本 晃司	放射線診断科	2,860,000	補委 若手研究(B)
高磁場MRI装置を用いたオートプシーイメージングシステムの開発	山本 憲	放射線診断科	9,100,000	補委 新学術領域研究
Perfusion CTによる重症肺炎早期肺虚血と血管透過性亢進についての研究	辻 喜久	放射線診断科	900,000	補委 特別研究員奨励費
手術侵襲と痛みに対する生体ストレス反応の評価とオピオイドの意義に関する研究	福田 和彦	麻酔科	9,750,000	補委 基盤研究(A)
虚血再灌流時に神経系細胞において発生する活性酸素種の確定とその特異的消去剤の選定	荒井 俊之	麻酔科	4,420,000	補委 基盤研究(B)
周術期における低酸素誘導性因子による酸素代謝制御の分子機構の解明	広田 喜一	麻酔科	4,550,000	補委 基盤研究(B)
T細胞に発現するオピオイド受容体の機能とその意義に関する研究	正田 文裕	麻酔科	1,170,000	補委 基盤研究(C)
機能的磁気共鳴画像法を用いた慢性疼痛脳内メカニズムの解明	倉田 二郎	麻酔科	1,690,000	補委 基盤研究(C)
全身麻酔薬が脳内エリスロポエチン誘導におよぼす影響の分子生物学的解析	田中 具治	麻酔科	2,860,000	補委 若手研究(B)
周術期使用薬剤が細胞の酸素代謝に及ぼす影響の細胞生物・分子生物学的解析	高淵 聡史	麻酔科	1,430,000	補委 若手研究(B)
脊髄内酸素メタボリズムがつくる微少環境の神経因性疼痛成立への関与	若松 拓彦	麻酔科	1,430,000	補委 若手研究(B)
吸入麻酔薬の作用におけるグリア細胞の役割の解明	福田 和彦	麻酔科	1,690,000	補委 挑戦的萌芽研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規臓器保護戦略 誘導性代謝リプログラミング法の確立に向けて	広田 喜一	麻酔科	1,300,000	補委 挑戦的萌芽研究
細胞傷害の原因となる一重項酸素を細胞内外で特異的に消去する薬剤の開発	荒井 俊之	麻酔科	1,430,000	補委 挑戦的萌芽研究
ベータ型変異増殖因子のシグナル伝達経路制御による肺移植後の肺線維化の予防法の開発	石井 久成	麻酔科	1,820,000	補委 挑戦的萌芽研究
オピオイドの作用における toll-like receptor の関与	角山 正博	麻酔科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究	倉田 二郎	麻酔科	600,000	補委 慢性の痛み対策研究事業
胚性幹細胞および骨髄間質細胞より誘導した神経幹細胞を利用した脳梗塞治療の開発	高木 康志	脳神経外科	4,680,000	補委 基盤研究 (B)
下垂体幹細胞からホルモン分泌細胞への分化誘導法の開発と下垂体再生医療への応用	北条 雅人	脳神経外科	1,430,000	補委 基盤研究 (C)
悪性グリオーマに対するオンコリティック・バイオレスポンス解析とバイオイメーキング	荒川 芳輝	脳神経外科	3,380,000	補委 若手研究 (A)
Rho/mDia シグナルを用いた脳腫瘍幹細胞のエピジェネティクス制御への挑戦	荒川 芳輝	脳神経外科	1,040,000	補委 挑戦的萌芽研究
脳損傷後機能代償機構の解明	宮本 享	脳神経外科	3,060,000	補委 挑戦的萌芽研究
非もやもや病小児閉塞性脳血管障害の実態把握と治療指針に関する研究	宮本 享	脳神経外科	13,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
ウイルス動脈輪閉塞症の診断・治療に関する研究	宮本 享	脳神経外科	5,500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
新しい脳卒中医療の開拓と均てん化のためのシステム構築に関する研究 (脳卒中地域医療における診療体制の現状調査)	宮本 享	脳神経外科	1,000,000	補委 (独) 国立循環器病研究センター
平面培養の時間的三次元化と機能性高分子複合化技術による弾性線維再生医療の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	7,670,000	補委 基盤研究 (A)
機能性人工真皮の開発及び難治性皮膚疾患への応用	河合 勝也	形成外科	7,540,000	補委 基盤研究 (B)
マトリックスプロテアーゼ HtrA1 によるケロイド組織の浸潤メカニズム	内藤 素子	形成外科	2,860,000	補委 基盤研究 (C)
培養真皮臨床試験および複合型培養皮膚の臨床試験に向けた基礎的研究	森本 尚樹	形成外科	1,430,000	補委 基盤研究 (C)
生体吸収性ハイドロゲル粒子混合細胞集合体を用いた三次元培養による軟骨再生法	河合 勝也	形成外科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究
巨指症発症メカニズムの解明	石河 利広	形成外科	1,950,000	補委 挑戦的萌芽研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
細胞増殖因子保持型新規人工真皮の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	11,950,000	補(独)科学技術 振興機構 委
マイクロRNAを用いた血管細胞分化増殖制御による新規心血管治療法の開発	南方 謙二	心臓血管外科	8,190,000	補 線越 基盤研究 委 (B)
生体内吸収性高分子担体と細胞増殖因子を用いた難治性虚血性疾患に対する新しい再生医療の開発:オーダーメイド医療の実現に向けた検討	坂田 隆造	心臓血管外科	52,000,000	補 医療技術実用化 委 総合(臨床研究 推進)
拡張型心筋症に対する集学的左心補助法の研究	坂田 隆造	心臓血管外科	5,070,000	補 委 基盤研究 (B)
マイクロRNAを用いた血管細胞分化増殖制御による新規心血管治療法の開発	南方 謙二	心臓血管外科	5,460,000	補 委 基盤研究 (B)
多血小板血漿徐放によるカクテル血管新生療法	丸井 晃	心臓血管外科	1,430,000	補 委 基盤研究 (C)
細胞シート工学を応用した幹細胞移植と増殖因子徐放を併用した心不全治療	池田 義	心臓血管外科	1,560,000	補 委 基盤研究 (C)
成熟血管新生治療のための徐放化DDS開発	坂田 隆造	心臓血管外科	4,500,000	補 委 文部科学省(分 担)
低侵襲心臓血管治療普及拡大を目的とした長時間留置可能な抗血栓性血栓捕捉フィルターデバイスの開発及び製品化	坂田 隆造	心臓血管外科	5,996,027	補 委 東レ株式会社 (経産省再委 託)
肺移植免疫寛容の導入を目指す前臨床研究	庄司 剛	呼吸器外科	2,102,950	補 委 基盤研究 (B)
肺移植臨床応用をめざした心停止ドナー肺の体外循環装置による肺傷害修復	伊達 洋至	呼吸器外科	8,320,000	補 委 基盤研究 (B)
改良型E-T-K液による肺持続灌流保存の前臨床研究	板東 徹	呼吸器外科	2,340,000	補 委 基盤研究 (C)
強制オシレーション法を用いた肺移植後急性肺拒絶評価法の基礎的研究	阪井 宏彰	呼吸器外科	3,601,000	補 委 基盤研究 (C)
ドナー肺の長時間低温保存における至適保存方法の検討	藤永 卓司	呼吸器外科	1,167,088	補 委 基盤研究 (C)
ALKフュージョンの新規パートナー遺伝子の検索	園部 誠	呼吸器外科	910,000	補 委 基盤研究 (C)
体外肺灌流技術を用いた、傷害のあるドナー肺の評価とその治療への挑戦	陳 豊史	呼吸器外科	9,750,000	補 委 若手研究 (A)
慢性閉塞性疾患の新しい外科的治療法の開発	佐藤 寿彦	呼吸器外科	1,560,000	補 委 若手研究 (B)
肺扁平上皮癌に対するFGFR抑制ペクター遺伝子治療	伊達 洋至	呼吸器外科	1,560,000	補 委 挑戦的萌芽研究
びまん性肺疾患に関する調査研究	伊達 洋至	呼吸器外科	1,000,000	補 委 難治性疾患克服 研究事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
呼吸不全に関する調査研究	伊達 洋至	呼吸器外科	1,200,000	補委 難治性疾患克服研究事業
ヒト・マスト細胞に発現するNK細胞受容体KIR2DL4の解析	片岡 竜貴	病理診断科	1,950,000	補委 基盤研究 (C)
肝移植後の肝細胞キメリズムの成立とグラフトの老化	宮川 文	病理診断科	1,430,000	補委 基盤研究 (C)
代謝型グルタミン酸受容体を介した新規細胞内シグナル伝達系の解析	森吉 弘毅	病理診断科	1,430,000	補委 基盤研究 (C)
睡眠時無呼吸における遺伝子多型と細胞の低酸素反応	坪井 知正	呼吸管理睡眠制御学講座	650,000	補委 基盤研究 (C)
難治性肺疾患におけるmDiaの役割の解析	小賀 徹	呼吸管理睡眠制御学講座	1,560,000	補委 基盤研究 (C)
肥満残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学講座	15,800,000	補委 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
睡眠呼吸障害による生活習慣病に関する医療情報提供とその効果の評価	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学講座	550,000	補委 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
間欠的および持続的酸素濃度操作による多能性幹細胞の特質変化法の開発	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学講座	1,560,000	補委 挑戦的萌芽研究
呼吸不全に関する調査研究	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学講座	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
臓器移植患者の予後およびQOLの向上のための真菌やウイルス感染症の予防・診断・治療に関する研究	一山 智	検査部	3,600,000	補委 新型インフルエンザ等振興・再興感染症研究事業
新型薬剤耐性菌等に関する研究	一山 智	検査部	1,200,000	補委 新型インフルエンザ等振興・再興感染症研究事業
地域流行型真菌症の疫学調査、診断治療法の開発に関する研究	高倉 俊二	検査部	600,000	補委 新型インフルエンザ等振興・再興感染症研究事業
胸部CTにおけるX線線量：線量低減効果の客観的評価を用いた最適化	久保 武	放射線部	1,170,000	補委 基盤研究 (C)
高密度焦点式超音波治療法の肝臓治療への応用、並びにRFAとの併用療法の検討	柴田 登志也	放射線部	1,170,000	補委 基盤研究 (C)
乳房領域における高分解能拡散強調画像の臨床応用	金尾 昌太郎	放射線部	2,730,000	補委 若手研究 (B)
低酸素を標的とした新たながん転移治療の開発	板坂 聡	放射線部	1,300,000	補委 若手研究 (B)
腫瘍内HIF-1存在低酸素領域の特異的描出を目的とした低分子放射性プローブの開発	上田 真史	放射線部	2,340,000	補委 若手研究 (B)
間葉系幹細胞の薬物的機能賦活を利用した臍帯血細胞移植技術の改良	三浦 康生	輸血細胞治療部	1,560,000	補委 研究活動スタート支援

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
慢性骨髄性白血病幹細胞とT3151変異クローンの根絶	前川 平	輸血細胞治療部	3,250,000	補委 基盤研究(B)
C/E B P転写因子による顆粒球分化と増殖のカップリング調節	平位 秀世	輸血細胞治療部	1,170,000	補委 基盤研究(C)
骨髄低酸素環境における骨髄腫幹細胞の解析と治療標的分子同定	前川 平	輸血細胞治療部	4,420,000	補委 新学術領域研究
エクソゾームの膜脂質組成を応用した癌特異的な新規DDSの開発による分子標的がん治療基盤技術の確立	前川 平	輸血細胞治療部	299,000	補委 (独) 科学技術振興機構
慢性白血病治療薬の開発(23-A-23) 小林班	前川 平	輸血細胞治療部	500,000	補委 (独) 国立がん研究センター
間葉系幹細胞の薬物的機能賦活を利用した難治性血液悪性疾患に対する臍帯血細胞移植技術の改良	三浦 康生	輸血細胞治療部	1,700,000	補委 (独) 科学技術振興機構
微小環境に注目したがんの治療戦略開発	前川 平	輸血細胞治療部	3,300,000	補委 文部科学省
微小環境構築と転写ネットワーク解析による免疫反応制御の分子機構解明	清水 章	探索医療センター	5,200,000	補委 基盤研究(B)
新規マクロファージ活性化制御分子EPRAPの機能解析	南 学	探索医療センター	2,210,000	補委 基盤研究(C)
分化抑制因子(I d)の機能特異性を生み出す分子基盤の検索	菅井 学	探索医療センター	1,430,000	補委 基盤研究(C)
遺伝子変異ラットを用いた新しいレプチン作用解析系の確立	阿部 恵	探索医療センター	1,300,000	補委 基盤研究(C)
自主臨床試験のリスクに応じた被験者保護<無過失補償とインフォームドコンセント>	村山 敏典	探索医療センター	1,430,000	補委 基盤研究(C)
新規に樹立したグレリン細胞株によるグレリン生成、分泌機構の解明	岩倉 浩	探索医療センター	2,470,000	補委 若手研究(B)
グレリン分泌低下マウスを用いた摂食脂肪蓄積におけるグレリンの生理的意義の検討	有安 宏之	探索医療センター	2,860,000	補委 若手研究(B)
電子カルテ二次利用による臨床試験・治療シミュレーションシステムの開発とその評価	角 栄里子	探索医療センター	2,470,000	補委 若手研究(B)
インフォームド・コンセントの内省と自己学習を促すための観察研究	八田 太一	探索医療センター	2,860,000	補委 若手研究(B)
ラクトソーム蛍光・PETイメージングにおける癌の描出能改善法の探究	栗原 研輔	探索医療センター	1,820,000	補委 若手研究(B)
グレリン細胞内遺伝子発現プロファイルの解析	岩倉 浩	探索医療センター	3,380,000	補委 新学術領域研究
アルツハイマー病の根本治療を目指した新規治療法の研究開発	清水 章	探索医療センター	1,000,000	補委 (独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
統合的ゲノム・エピゲノム解析を用いた消化器癌の化学療法における感受性予測	西村 貴文	外来化学療法部	2,860,000	補委 基盤研究 (C)
喫煙がゲムシタピンを用いたがん化学療法による好中球数減少に及ぼす影響に関する研究	金井 雅史	外来化学療法部	2,000,000	補委 財) 喫煙科学研究財団
分子遺伝学的検査の妥当性・有用性の検討に関する研究	小杉 眞司	遺伝子診療部	1,300,000	補委 基盤研究 (C)
多発性内分泌腫瘍症 1 型および 2 型の診療実態調査と診断治療指針の作成	小杉 眞司	遺伝子診療部	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
腎薬剤排出系の生理学的・薬物動態学的意義の解明	桂 敏也	薬剤部	7,410,000	補委 基盤研究 (B)
成長に伴う腎薬物トランスポータの変動機構解明と薬物動態への影響	本橋 秀之	薬剤部	89,258	補委 若手研究 (B)
分子標的抗がん剤の薬理ゲノム解析と薬物動態制御に基づく個別最適投与法の開発	福土 将秀	薬剤部	2,210,000	補委 若手研究 (B)
臨床症例に基づく新規リポフラビントランスポータ RFT の病態生理的役割の解明	米澤 淳	薬剤部	1,560,000	補委 若手研究 (B)
腎排泄型カチオン性小分子の多階層的生体挙動制御解析	桂 敏也	薬剤部	5,070,000	補委 新学術領域研究

小計
9
計
483

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Hematol. 93 (4) : 532-41, 2011.	Clinical significance of subcategory and severity of chronic graft-versus-host disease evaluated by National Institutes of Health consensus criteria.	Sato T	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 93 (5) : 673-6, 2011.	Durable hematological response and improvement of nephrotic syndrome on thalidomide therapy in a patient with refractory light chain deposition disease.	Fujita H	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant. 46 (2) : 208-16, 2011.	Pretransplant serum ferritin and C-reactive protein as predictive factors for early bacterial infection after allogeneic hematopoietic cell transplantation.	Kanda J	血液・腫瘍内科
Exp Hematol. 39 (4) : 424-433, 2011.	Cross-priming of CD8(+) T cells in vivo by dendritic cells pulsed with autologous apoptotic leukemic cells in immunotherapy for elderly patients with acute myeloid leukemia.	Kitawaki T	血液・腫瘍内科
Br J Haematol. 153 (6) : 796-9, 2011.	A phase I/IIa clinical trial of immunotherapy for elderly patients with acute myeloid leukaemia using dendritic cells co-pulsed with WT1 peptide and zoledronate.	Kitawaki T	血液・腫瘍内科
Blood. 117 (2) : 500-9, 2011.	Bortezomib suppresses function and survival of plasmacytoid dendritic cells by targeting intracellular trafficking of Toll-like receptors and endoplasmic reticulum homeostasis.	Hirai M	血液・腫瘍内科
Clinical and Developmental Immunology 2011: 104926, 2011.	Recent advance in antigen-specific immunotherapy for acute myeloid leukemia.	Kadowaki N	血液・腫瘍内科
臨床血液. 52 (7) : 497-504, 2011.	ヒト樹状細胞の機能制御による悪性腫瘍および炎症性疾患の治療, 第72回日本血液学会学術集会 シンポジウム2 Novel approach toward advanced dendritic cell therapy.	門脇 則光	血液・腫瘍内科
Expert Rev Hematol. 4 (1) : 71-80, 2011.	Iron overload and allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation.	Kanda J	血液・腫瘍内科
臨床血液. 52 (6) : 399-405, 2011.	赤血球造血におけるシグナルと転写制御 Transferrin Receptor 2による鉄代謝シグナル 赤血球造血における意義.	川端 浩	血液・腫瘍内科
Biochem Biophys Res Commun. 2011 Sep 16;413 (1) :75-9.	Singlet oxygen is essential for neutrophil extracellular trap formation.	Nishinaka Y	血液・腫瘍内科
Rinsho Ketsueki. 2011 Oct;52 (10) :1705-12. Review. Japanese.	[Basic and clinical research on HIV-1].	Takaori-Kondo A	血液・腫瘍内科
J Hosp Infect. 2011 Sep;79 (1) :49-53.	Control of an outbreak of carbapenem-resistant Pseudomonas aeruginosa in a haemato-oncology unit.	Nagao M	血液・腫瘍内科
Endocrinology	Impaired CNS leptin action is implicated in depression associated with obesity.	N. Yamada	内分泌・代謝内科
Endocrinology	Oxitocin and dopamine stimulate ghrelin secretion by the ghrelin-producing cell line, MGN3-1 in vitro.	H. Iwakura	内分泌・代謝内科
J. Mol. Cell. Cardiol.	Zinc-finger protein 90 negatively regulates neuron-restrictive silencer factor-mediated transcriptional repression of fetal cardiac genes.	K. Kuwahara	内分泌・代謝内科
Heart	The effect of glycosylation on plasma N-terminal proBNP-76 levels in patients with heart or renal failure.	T. Nishikimi	内分泌・代謝内科
J. Clin. Endocrinol. Metab.	Significance of adrenocorticotropin stimulation test in the diagnosis of an aldosterone-producing adenoma.	T. Sonoyama	内分泌・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes	Therapeutic impact of leptin on diabetes, diabetic complications, and longevity in insulin-deficient diabetic mice.	M. Naito	内分泌・代謝内科
Kidney Int.	Pleiotrophin triggers inflammation and increased peritoneal permeability leading to peritoneal fibrosis.	H. Yokoi	内分泌・代謝内科
Endocrinology	Forkhead box A1 (FOXA1) and A2 (FOXA2) oppositely regulate human type 1 iodothyronine deiodinase gene in liver.	N. Kanamoto	内分泌・代謝内科
Am. J. Physiol. Endocrinol. Metab.	Amylin improves the effect of leptin on insulin sensitivity in leptin-resistant diet-induced obese mice.	T. Kusakabe	内分泌・代謝内科
Diabetologia	Induced pluripotent stem cells generated from diabetic patients with mitochondrial DNA A3243G mutation.	J. Fujikura	内分泌・代謝内科
Inflammatory Bowel Disease	Positive finding of colonic PCR for CMV-DNA is not false positive but warning for treating patients with UC refractory to immunosuppressive therapies.	Nakase Hiroshi	消化器内科・内視鏡部
Digestion	Effect and Safety of Granulocyte-Monocyte adsorption apheresis for UC patients positive for cytomegalovirus in comparison with immunosuppressants.	Yoshino Takuya	消化器内科・内視鏡部
Eur J Radiol	Measurement of canine pancreatic perfusion using dynamic computed tomography: Influence of input-output vessels on deconvolution and maximum slope methods.	Tsuiji Yoshihisa	消化器内科・内視鏡部
Cancer Chemother Pharmacol	Pharmacokinetics of oxaliplatin in a hemodialytic patient treated with modified FOLFOX-6 plus bevacizumab therapy.	Horimatsu Takahiro	消化器内科・内視鏡部
J Clin Gastroenterol	Efficacy of preventive endoscopic balloon dilation for esophageal stricture after endoscopic resection.	Ezoe Yasumasa	消化器内科・内視鏡部
Aliment Pharmacol Ther	Potential role of granulocyte/monocyte adsorptive apheresis for ulcerative colitis with concomitant CMV infection.	Nakase Hiroshi	消化器内科・内視鏡部
Gastrointest Endoscopy	Long-term outcome of transoral organ-preserving pharyngeal endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.	Muto Manabu	消化器内科・内視鏡部
J Translational Med	Safety and pharmacokinetics of recombinant human hepatocyte growth factor (rh-HGF) in patients with fulminant hepatitis: a phase I/II clinical trial, following preclinical studies to ensure safety.	Chiba Tsutomu	消化器内科・内視鏡部
Am J Gastroenterol	Relationship between serum angiotensin 2 level and perfusion CT parameters in severe acute pancreatitis.	Watanabe Tomohiro	消化器内科・内視鏡部
Cancer Chemother Pharmacol	A multi-institution phase II study of gemcitabine/S-1 combination chemotherapy for patients with advanced biliary tract cancer.	Kanai Masashi	消化器内科・内視鏡部
Allergol Int	Cough triggers and their pathophysiology in patients with prolonged or chronic cough.	Matsumoto H	呼吸器内科
COPD	Impact of COPD exacerbations on osteoporosis assessed by chest CT scan	Kiyokawa H	呼吸器内科
Clin Lung Cancer	Expressions of Insulin-Like Growth Factor Receptor-1 and Insulin-Like Growth Factor Binding Protein 3 in Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer	Kim YH	呼吸器内科
Int J Tuberc Lung Dis	Predictors of 5-year mortality in pulmonary Mycobacterium avium-intracellulare complex disease	Ito Y	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Lung Cancer	Prognostic significance of preexisting interstitial lung disease in Japanese patients with small-cell lung cancer.	Togashi Y	呼吸器内科
Case Rep Oncol	Should Epidermal Growth Factor Receptor-Tyrosine Kinase Inhibitor Be Continued beyond Progressive Disease?	Kim YH	呼吸器内科
Respiration	Clinical, physiological and anti-inflammatory effect of montelukast in patients with cough variant asthma.	Takemura M	呼吸器内科
Transpl Infect Dis	Clinical features and risk factors of tuberculosis in living-donor liver transplant recipients.	Imai S	呼吸器内科
J Thorac Oncol	How should we use bevacizumab in patients with non-small cell lung cancer?	Kim YH	呼吸器内科
Cytokine	Interleukin-13 enhanced Ca ²⁺ oscillations in airway smooth muscle cells	Matsumoto H	呼吸器内科
Tissue Antigens	A CD40 single-nucleotide polymorphism affects the lymphocyte profiles in the bronchoalveolar lavage of Japanese patients with sarcoidosis	Tanizawa K	呼吸器内科
Nihon Rinsho	Novel therapeutics for COPD	Hoshino Y	呼吸器内科
Heart Lung	Pulmonary hemorrhage induced by epileptic seizure	Azuma M	呼吸器内科
Respiration	Sputum YKL-40 Levels and Pathophysiology of Asthma and Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Otsuka K	呼吸器内科
Respirology	A NOD2 gene polymorphism is associated with the prevalence and severity of chronic obstructive pulmonary disease in a Japanese population	Kinose D	呼吸器内科
Respiration	Plasma substance P levels in patients with persistent cough	Otsuka K	呼吸器内科
Nihon Rinsho	History, current state and future perspective of tuberculosis research and clinical medicine	Ito Y	呼吸器内科
Panminerva Med	Non-invasive ventilation in severe asthma attack, its possibilities and problems.	Murase K	呼吸器内科
Respir Med	HRCT features of interstitial lung disease in dermatomyositis with anti-CADM-140 antibody.	Tanizawa K	呼吸器内科
Intern Med	Efficacy of blood-patch pleurodesis for secondary spontaneous pneumothorax in interstitial lung disease.	Aihara K	呼吸器内科
Health Qual Life Outcomes	Validation of the Japanese version of the Sarcoidosis Health Questionnaire: a cross-sectional study.	Tanizawa K	呼吸器内科
Respir Med	Detection of antisynthetase syndrome in patients with idiopathic interstitial pneumonias.	Watanabe K	呼吸器内科
Am J Respir Crit Care Med	Impact of exacerbations on emphysema progression in chronic obstructive pulmonary disease.	Tanabe N	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Chest	Effect of inhaled corticosteroid therapy on CT scan-estimated airway dimensions in a patient with chronic bronchitis related to ulcerative colitis.	Hamada S	呼吸器内科
J Investig Allergol Clin Immunol	Long-term changes in airway-wall thickness on computed tomography in asthmatic patients.	Matsumoto H	呼吸器内科
Nitric Oxide	Eosinophils and macrophages are involved in nitrosative stress in chronic eosinophilic pneumonia.	Nakaji H	呼吸器内科
Clin Rheumatol 30 (3) :429-32, 2011	A case of anti-synthetase syndrome in a rheumatoid arthritis patient with anti-PL-12 antibody following treatment with etanercept.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Hum Mol Genet. 20 (13) :2680-5, 2011	The human AIRE gene at chromosome 21q22 is a genetic determinant for the predisposition to rheumatoid arthritis in Japanese population.	Mimori T	免疫・膠原病内科
PLoS One 6 (6) :e20457, 2011	Myelin basic protein as a novel genetic risk factor in rheumatoid arthritis - a genome-wide study combined with immunological analyses.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Rheumatology (Oxford) 50 (7) :1302-9, 2011	Specific antinuclear antibodies in systemic sclerosis patients with and without skin involvement: an extended methodological approach.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Respir Med. 105 (8) :1238-47, 2011	Detection of antisynthetase syndrome in patients with idiopathic interstitial pneumonias.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Lupus 20 (8) :792-800, 2011.	Interferon-g release assay for diagnosing Mycobacterium tuberculosis diseases in patients with systemic lupus erythematosus.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Proc Natl Acad Sci USA. 108 (36) :14914-9, 2011	Proteasome assembly defect due to a proteasome subunit beta type 8 (PSMB8) mutation causes the autoinflammatory disorder, Nakajo-Nishimura syndrome.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Ann Rheum Dis. 70 (12) :2134-9, 2011	A large-scale association study identified multiple HLA-DRB1 alleles associated with ACPA-negative rheumatoid arthritis in Japanese subjects.	Mimori T	免疫・膠原病内科
PLoS ONE 6 (10) :e27020, 2011	Overexpression of minimal domain of calpastatin suppresses IL-6 production and Th17 development via reduced NF-kB and increased STAT5 signals.	Mimori T	免疫・膠原病内科
Induced Stem Cells, chapter V, Nova Science Publishers Inc, New York, p129-142, 2012	Induced Pluripotent Stem Cell Technology for the Study of Neurodegenerative Diseases.	Kondoh H	老年内科
COPD, 9:1-8, 2012	Impact of COPD exacerbations on osteoporosis assessed by chest CT scan.	Kondoh H	老年内科
Journal of Clinical Gerontology & Geriatrics 3 (2012) 21-24	Identifying cognitive dysfunction using the nurses' rapidly clinical judgment in elderly inpatients.	Takechi H	老年内科
Journal of Aging Research 2011 1-11	MicroRNAs Regulate Key Effector Pathways of Senescence.	Kondoh H	老年内科
Dement Geriatr Cogn Disord 2011;32 (1) :45-54	Clinical Course of Patients with Familial Early-Onset Alzheimer's Disease Potentially Lacking Senile Plaques Bearing the E693 Mutation in Amyloid Precursor Protein.	Takechi H	老年内科
J Clinical Gerontol Geriat 2 (4) ; 116-120, 2011	Psychosocial quality of life of elderly hemodialysis patients using visual analog scale: Comparison with healthy elderly in Japan	Takechi H	老年内科
Geriatr Gerontol Int. 2012 Jan;12 (1) :65-71	Comparison of the psychosocial quality of life in hemodialysis patients between the elderly and non-elderly using a visual analogue scale: the importance of appetite and depressive mood.	Takechi H	老年内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Neurophysiol. 107 (9) :2526-31. 2012	Intraneuronally Injected Amyloid Beta Inhibits Long-Term Potentiation In Rat Hippocampal Slices.	Takechi H	老年内科
Geriatr Gerontol Int 2012 Oct;12 (4) :630-6	Both conventional indices of cognitive function and frailty predict levels of care required in a long-term care insurance program for memory clinic patients in Japan	Takechi H	老年内科
International Journal of Alzheimer's Disease, vol. 2012, Article ID 418289, 7 pages, 2012	Relative Preservation of Advanced Activities in Daily Living among Patients with Mild-to-Moderate Dementia in the Community and Overview of Support Provided by Family Caregivers.	Takechi H	老年内科
Geriatr Gerontol Int. 2012 in press.	Global brain atrophy is associated with physical performance and the risk of falls in older adults with cognitive impairment.	Takechi H	老年内科
Diabetes	Exendin-4 suppresses Src activation and reactive oxygen species production in diabetic GK rat islets in an Epac-dependent manner.	Mukai E	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	Plasma GIP and GLP-1 levels are associated with distinct factors after glucose loading in Japanese subjects.	Harada N	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	Utility of indices using C peptide levels for indication of insulin therapy to achieve good glycemic control in Japanese patients with type 2 diabetes	Funakoshi S	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	GLP-1 receptor agonist attenuates ER stress-mediated β -cell damage in Akita mice.	Yamane S	糖尿病・栄養内科
Biochemical and Biophysical Research Communications	The effect of gastric inhibitory polypeptide on intestinal glucose absorption and intestinal motility in mice	Ogawa E	糖尿病・栄養内科
Molecular Genetics and Metabolism	GCKR mutations in Japanese families with clustered type2 diabetes	Tanaka D	糖尿病・栄養内科
Biochemical Journal	Role of mitochondrial phosphate carrier in metabolism-secretion coupling in rat insulinoma cell line INS-1.	Nishi Y	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	Relation of homocysteine and homocysteine-related vitamins to bone mineral density in Japanese patients with type 2 diabetes.	Yamada C	糖尿病・栄養内科
Transplant International	Three dimensional ex vivo imaging and analysis of intraportal islet transplants.	Fujimoto H	糖尿病・栄養内科
Journal of Neuroscience Research	Purkinje cell protein 4 positively regulates neurite outgrowth and neurotransmitter release.	Harashima S	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	Sortingnexin 19 regulates the number of dense core vesicles in pancreatic beta-cells.	Harashima S	糖尿病・栄養内科
American Journal of Physiology - Cell Physiology	Systems analysis of GLP-1 receptor signaling in pancreatic β -cells.	Takeda Y	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	Analysis of factors influencing postprandial C peptide levels in Japanese patients with type 2 diabetes: Comparison with C peptide levels after glucagon load.	Funakoshi S	糖尿病・栄養内科
Journal of Diabetes Investigation	Long-term safety and efficacy of exenatide twice daily in Japanese patients with suboptimally controlled type 2 diabetes .	Inagaki N	糖尿病・栄養内科
American Journal of Clinical Nutrition	Impact of endogenous and exogenous insulin on basal energy expenditure in patients with type 2 diabetes under standard treatment.	Ikeda K	糖尿病・栄養内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Diabetes Investigation	Plasma gastric inhibitory polypeptide and glucagon-like peptide-1 levels after glucose loading are associated with different factors in Japanese subjects	Harada N	糖尿病・栄養内科
Resuscitation	Regional cerebral oxygen saturation on hospital arrival is a potential novel predictor of neurological outcomes at hospital discharge in patients with out-of-hospital cardiac arrest.	西山 慶	初期診療・救急科
J Cell Physiol.	Role of PPAR γ in the salutary effects of 17 β -estradiol on Kupffer cell cytokine production following trauma-hemorrhage.	鈴木 崇生	初期診療・救急科
日本外傷学会雑誌	Damage control surgeryを要する重症肝損傷治療におけるIVRの重要性	佐藤 格夫	初期診療・救急科
Clin Neurophysiol	Ictal wideband ECoG: Direct comparison between ictal slow shifts and high frequency oscillations.	今村 久司	神経内科
J Clin Invest.	Dysfunction of fibroblasts of extra-renal origin underlies renal fibrosis and renal anemia in mice.	柳田 素子	腎臓内科
Kidney International in press.	Physical finding of nutcracker phenomenon.	柳田 素子	腎臓内科
Plos One in press.	Reduced BMP signaling results in hindlimb fusion with lethal pelvic/urogenital organ aplasia: a new mouse model of sirenomelia.	柳田 素子	腎臓内科
Geriatr Gerontol Int.	Comparison of the psychosocial quality of life in hemodialysis patients between the elderly and non-elderly using a visual analogue scale: the importance of appetite and depressive mood.	柳田 素子	腎臓内科
Nephrology Dialysis Transplantation, in press.	Inhibitors/antagonists of the TGF- β system in kidney fibrosis.	柳田 素子	腎臓内科
Discov Med.	Bmp modulators in kidney disease.	柳田 素子	腎臓内科
Ther Apher Dial.	Low density lipoprotein apheresis ameliorates interferon- γ production in patients with nephrotic syndrome.	宮田 仁美	腎臓内科
感染・炎症・免疫	USAG-1, BMPアンタゴニストと腎疾患	柳田 素子	腎臓内科
BIO Clinica	慢性腎臓病における糸球体・尿細管クロストーク	柳田 素子	腎臓内科
医学のあゆみ	線維化を起こす細胞群と腎性貧血	柳田 素子	腎臓内科
日本内科学会雑誌	電解質異常(低カリウム血症, 高カルシウム血症) (特集 腎障害をきたす全身性疾患 - 最近の進歩)	松原 雄	腎臓内科
腎と透析 71巻別冊 腹膜透析	不明熱の原因としてgraft intolerance syndrome (GIS) が強く疑われた移植腎機能廃絶後の腹膜透析患者の一例	松原 雄	腎臓内科
今日の治療指針2012 医学書院 2012	尿管管性アシドーシスとその他の尿管管疾患	柳田 素子	腎臓内科
Medicina in press	基礎研究の治験を腎臓病診療に生かす	柳田 素子	腎臓内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
内科 in press	Alport症候群	柳田 素子	腎臓内科
細胞 in press	線維化と腎性貧血を制御する	柳田 素子	腎臓内科
Surgery	Feasibility of laparoscopic gastrectomy with radical lymph node dissection for gastric cancer: from a viewpoint of pancreas-related complications.	小瀨 和貴	消化管外科
Int J Clin Oncol	Molecular mechanisms of liver metastasis.	河田 健二	消化管外科
Int J Clin Oncol	Current topics in colorectal liver metastasis.	坂井 義治	消化管外科
Ann Surg Oncol	Gastrectomy for Patients with Positive Peritoneal Cytology: Comments on the Article "Positive Peritoneal Cytology in Patients with Gastric Cancer: Natural History and Outcome of 291 Patients".	岡部 寛	消化管外科
Cancer Res	Significance and Mechanism of Lymph Node Metastasis in Cancer Progression.	河田 健二	消化管外科
治療	早期癌と進行癌のそれぞれの治療法について教えてください	河田 健二	消化管外科
日本外科学会雑誌	直腸癌治療の最近の動向 7、直腸がんに対する腹腔鏡手術治療	長谷川 傑	消化管外科
日本医師会雑誌	次世代の消化器外科医の育成	坂井 義治	消化管外科
外科治療	術前がん治療を行った患者管理	角田 茂	消化管外科
PLoS One	Association between the SERPING1 gene and age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy in Japanese	吉村 長久	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Significance of C2/CFB variants in age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy in a Japanese population	吉村 長久	眼科
Retina	Endoscope-assisted vitrectomy in the management of pseudophakic and aphakic retinal detachments with undetected retinal breaks	吉村 長久	眼科
Arch Ophthalmol	Photoreceptor restoration in unilateral acute idiopathic maculopathy on adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	吉村 長久	眼科
Ophthalmology	Detection of localized retinal nerve fiber layer defects in glaucoma using enhanced Spectral-domain optical coherence tomography	板谷 正紀	眼科
Ophthalmology	Macular ganglion cell layer imaging in preperimetric glaucoma with speckle noise-reduced spectral domain optical coherence tomography	板谷 正紀	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Automated assessment of drusen using three-dimensional spectral-domain optical coherence tomography	板谷 正紀	眼科
Am J Pathol	Low-dose-rate, low-dose irradiation delays neurodegeneration in a model of retinitis pigmentosa	大谷 篤史	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Ophthalmol	Outer retinal circular structures in patients with Bietti crystalline retinopathy	大谷 篤史	眼科
Am J Ophthalmol	Association of lesion size and visual prognosis to polypoidal choroidal vasculopathy	辻川 明孝	眼科
Eye	Development of polypoidal lesions in age-related macular degeneration	辻川 明孝	眼科
Jpn J Ophthalmol	Lamellar macular hole formation in chronic cystoid macular edema associated with retinal vein occlusion	辻川 明孝	眼科
Clin Ophthalmol	Grid photocoagulation combined with intravitreal bevacizumab for recurrent macular edema associated with retinal vein occlusion	辻川 明孝	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Macular choroidal thickness and volume in normal subjects measured by swept-source optical coherence tomography	辻川 明孝	眼科
Am J Ophthalmol	Treatment of polypoidal choroidal vasculopathy with photodynamic therapy combined with intravitreal injections of ranibizumab	辻川 明孝	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Biometric features of peripapillary atrophy beta in eyes with high myopia	野中 淳之	眼科
Ophthalmology	Genetic variants in pigment epithelium-derived factor influence response of polypoidal choroidal vasculopathy to photodynamic therapy	山城 健児	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Association of elastin gene polymorphism to age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy	山城 健児	眼科
Jpn J Ophthalmol	VEGF gene polymorphism and response to intravitreal bevacizumab and triple therapy in age-related macular degeneration	山城 健児	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Association of 15q14 and 15q25 with high myopia in Japanese	山城 健児	眼科
Am J Ophthalmol	Factors associated with the response of age-related macular degeneration to intravitreal ranibizumab treatment	山城 健児	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	High-resolution photoreceptor imaging in idiopathic macular telangiectasia type 2 using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	大音 壮太郎	眼科
PLoS One	High-resolution imaging of the retinal nerve fiber layer in normal eyes using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	大音 壮太郎	眼科
Ophthalmology	High-resolution imaging of the photoreceptor layer in epiretinal membrane using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	大音 壮太郎	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Effects of age, gender, and axial length on the three-dimensional profile of normal macular layer structures	大音 壮太郎	眼科
Am J Ophthalmol	Photoreceptor damage and foveal sensitivity in surgically closed macular holes: An adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy study	大音 壮太郎	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Optical coherence tomographic reflectivity of photoreceptors beneath cystoid spaces in diabetic macular edema	村上 智昭	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Retina	Characteristics of optical coherence tomographic hyperreflective foci in retinal vein occlusion	村上 智昭	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Evaluation of macular function using focal macular electroretinography in eyes with macular edema associated with branch retinal vein occlusion	村上 智昭	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Longitudinal and simultaneous imaging of retinal ganglion cells and inner retinal layers in a mouse model of glaucoma induced by N-methyl-D-aspartate	池田 華子	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Focal macular electroretinogram in macular edema secondary to central retinal vein occlusion	宮本 和明	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	The Source of moving particles in parafoveal capillaries detected by adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	宇治 彰人	眼科
J Reprod Immunol.	Intrauterine administration of autologous peripheral blood mononuclear cells increases clinical pregnancy rates in frozen/thawed embryo transfer cycles of patients with repeated implantation failure.	Okitsu O	産科婦人科
J Clin Endocrinol Metab	Diagnostic value of salivary cortisol in the CRH stimulation test in premature infants.	Matsukura T	小児科
PLoS One	Identification of hepatic niche harboring human acute lymphoblastic leukemic cells via the SDF-1/CXCR4 axis.	Kato I	小児科
Int Immunol	The CD40-CD40L axis and IFN- γ play critical roles in Langerhans giant cell formation	Sakai H	小児科
PLoS One	A novel serum-free monolayer culture for orderly hematopoietic differentiation of human pluripotent cells via mesodermal progenitors	Niwa T	小児科
Arthritis Rheum	High incidence of NLRP3 somatic mosaicism in patients with chronic infantile neurologic, cutaneous, articular syndrome: results of an International Multicenter Collaborative Study	Tanaka N	小児科
Blood	Rapid diagnosis of FHL3 by flow cytometric detection of intraplatelet Munc13-4 protein	Murata Y	小児科
J Cell Physiol	Neutrophil differentiation from human-induced pluripotent stem cells	Morishima T	小児科
J Allergy Clin Immunol 129:536-543.	PGD2 induces eotaxin-3 via PPARgamma from sebocytes: a possible pathogenesis of eosinophilic pustular folliculitis.	Nakahigashi K	皮膚科
J Clin Invest 122:722-732.	Severe dermatitis with loss of epidermal Langerhans cells in human and mouse zinc deficiency.	Kawamura T	皮膚科
Proc Natl Acad Sci U S A 108:6668-6673.	Prostaglandin E2-prostaglandin E receptor subtype 4 (EP4) signaling mediates UV irradiation-induced systemic immunosuppression.	Soontrapa K	皮膚科
PLoS One 6:e25538.	Requirement of interaction between mast cells and skin dendritic cells to establish contact hypersensitivity.	Otsuka A	皮膚科
Arch Dermatol 147:1110-1112	High-mobility group box 1 protein (HMGB1) as a novel diagnostic tool for toxic epidermal necrolysis and Stevens-Johnson syndrome.	Nakajima S	皮膚科
J Invest Dermatol 131:1660-1667.	A GPR40 agonist GW9508 suppresses CCL5, CCL17, and CXCL10 induction in keratinocytes and attenuates cutaneous immune inflammation.	Fujita T	皮膚科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Invest Dermatol 131:977-979.	In vivo imaging of T-cell motility in the elicitation phase of contact hypersensitivity using two-photon microscopy.	Egawa G	皮膚科
J Allergy Clin Immunol 129:1048-1055 e1046.	Langerhans cells are critical in epicutaneous sensitization with protein antigen via thymic stromal lymphopoietin receptor signaling.	Nakajima S	皮膚科
Hinyokika Kyo. 2011 Dec;57 (12) :671-6	Impact of different methods of estimating renal function on determining eligibility for cisplatin (CDDP)-based chemotherapy in patients with invasive urothelial carcinoma.	Goto T	泌尿器科
Nihon Rinsho. 2011 Jun;69 Suppl 5:395-8	Significance of PSA nadir as a tool of predicting biochemical failure after radical prostatectomy for prostate cancer.	Kinoshita H	泌尿器科
Nihon Rinsho. 2011 Jun;69 Suppl 5:326-9	History and present status of the treatment of prostate cancer.	Ogawa O	泌尿器科
J Pediatr Urol. 2011 Dec	A multi-center study of pediatric uroflowmetry data using patterning software.	Kanematsu A	泌尿器科
Prostate Cancer. 2011;2011:647987	Role of signaling transduction pathways in development of castration-resistant prostate cancer.	Inoue T.	泌尿器科
Int J Clin Oncol. 2011 Oct 5	Long-term outcomes of three-dimensional conformal radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for Japanese patients with T1c-T2N0M0 prostate cancer.	Mizowaki T	泌尿器科
Hinyokika Kyo. 2011 Aug;57 (8) :429-33	A case of renal cell carcinoma associated with paraganglioma.	Sumiyoshi T	泌尿器科
Hinyokika Kyo. 2011 Jun;57 (6) :309-13	IgG4-related tubulointerstitial nephritis presented with multiple renal nodular lesions.	Oae M	泌尿器科
Carcinogenesis. 2011 Oct;32 (10) :1459-66	Thioredoxin-interacting protein suppresses bladder carcinogenesis.	Nishizawa K	泌尿器科
J Hum Genet. 2011 Aug;56 (8) :572-6	A polymorphism of the PDLG2 gene is genetically associated with the invasiveness of urinary bladder cancer in Japanese males.	Ratanajaraya C	泌尿器科
J Med Case.Rep. 2011 Jun 25;5:234	Obstructive azoospermia as an unusual complication associated with herniorrhaphy of an omphalocele: a case report.	Tsuchihashi K	泌尿器科
Hinyokika Kyo. 2011 Apr;57 (4) :193-7	Pseudohypoaldosteronism type 1 in an infant with bilateral primary obstructive megaureter : a case report.	Makino.Y	泌尿器科
Hinyokika Kyo. 2011 Apr;57 (4) :185-8	A case of amyloidosis of the ureter caused by primary macroglobulinemia.	Miyazaki Y	泌尿器科
J Endourol. 2011 Jun;25 (6) :1031-5	Laparoendoscopic Single-Site Surgery for Left Adrenalectomy: Standardization of Technique.	Yoshimura K	泌尿器科
J Urol. 2011 Jun;185 (6) :2398-404	Regulation of connexin 43 by basic fibroblast growth factor in the bladder: transcriptional and behavioral implications.	Negoro H	泌尿器科
Int J Urol. 2011 Jun;18 (6) :432-8	Overexpression of Eg5 predicts unfavorable prognosis in non-muscle invasive bladder urothelial carcinoma.	Ding S	泌尿器科
Int J Cancer. 2012 Feb 1;130 (3) :521-31	The importance of integrin-linked kinase in the regulation of bladder cancer invasion.	Matsui Y	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci. 2011 Apr;102(4):828-36	SPA-1 controls the invasion and metastasis of human prostate cancer.	Shimizu Y	泌尿器科
Oncogene. 2012 Mar 26	Downregulation of Ral GTPase-activating protein promotes tumor invasion and metastasis of bladder cancer.	Saito R	泌尿器科
Sci Rep. 2012;2:317	BALB/c-Fcgr2bPdc1 mouse expressing anti-urothelial antibody is a novel model of autoimmune cystitis.	Sugino Y	泌尿器科
Int J Clin Oncol. 2012 Mar 13	The effect of gencitabine/paclitaxel chemotherapy on the survival of patients with metastatic urothelial cancers.	Matsui Y	泌尿器科
Int J Urol. 2012 Jun;19(6):583-6; author reply 586	First report of idiopathic segmental ureteritis successfully treated by steroid therapy.	Atsuta T	泌尿器科
Nat Genet. 2012 Feb 26;44(4):426-9, S1	Common variants at 11q12, 10q26 and 3p11.2 are associated with prostate cancer susceptibility in Japanese.	Akamatsu S	泌尿器科
Int J Clin Oncol. 2012 Feb 21	Prolonged treatment with three-weekly docetaxel plus daily prednisolone for metastatic castration-resistant prostate cancer: a multicenter, phase II, open-label, non-comparative, extension study in Japan.	Nishimura K	泌尿器科
Ann Otol Rhinol Laryngol.	Implantation of an atelocollagen sponge with autologous bone marrow-derived mesenchymal stromal cells for treatment of vocal fold scarring in a canine model.	大野 覚	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	The effect of pre-operative developmental delays on the speech perception of children with cochlear implants.	平海 晴一	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	Management of vocal fold lesions in difficult laryngeal exposure patients in phonosurgery.	大野 覚	耳鼻咽喉科
Case Report Med.	Olfactory ensheathing cell tumor arising from the olfactory mucosa.	荻野 枝里子	耳鼻咽喉科
Cell Transplant.	Fates of murine pluripotent stem cell-derived neural progenitors following transplantation into mouse cochleae.	西村 幸司	耳鼻咽喉科
Dev Biol.	Rbpj regulates development of prosensory cells in the mammalian inner ear.	山本 典生	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otorhinolaryngol.	A minimally invasive approach for cochlear implantation using a microendoscope.	平海 晴一	耳鼻咽喉科
Gastrointest Endosc.	Long-term outcome of transoral organ-preserving pharyngeal endoscopic resection for superficial pharyngeal cancer.	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科
Hear Res.	Localization of septin proteins in the mouse cochlea.	吉田 充裕	耳鼻咽喉科
J Neurosci Res.	Trauma-specific insults to the cochlear nucleus in the rat.	関谷 徹治	耳鼻咽喉科
JMAJ	Tissue Engineering for Voice Disorder.	平野 滋	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	Clinical trial of regeneration of aged vocal folds with growth factor therapy.	平野 滋	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Laryngoscope	Prevention of buccal mucosa scarring with transforming growth factor β 3.	大野 覚	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	Recruitment patterns of side population cells during wound healing in rat vocal folds.	児嶋 剛	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	The Protective Efficacy of Basic Fibroblast Growth Factor in Radiation-induced Salivary Gland Dysfunction in mice.	児嶋 剛	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	Regeneration of Radiation Damaged Salivary Glands with Adipose-Derived Stromal Cells.	児嶋 剛	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	Adipose tissue-derived stromal cells protect hair cells from aminoglycoside.	吉田 充裕	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	An endoscopic endonasal surgery training model using quail eggs.	荻野 枝里子	耳鼻咽喉科
Laryngoscope	Effect of cisplatin on distortion product otoacoustic emissions in Japanese patients.	Peem Eiamprapai	耳鼻咽喉科
Neuropharmacology	Role of PGE-type receptor 4 in auditory function and noise-induced hearing loss in mice.	濱口 清海	耳鼻咽喉科
Otol Neurotol.	Audiometric Outcomes of Topical IGF1 Treatment for Sudden Deafness Refractory to Systemic Steroids.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
Proc Natl Acad Sci U S A.	Piezoelectric materials mimic the function of the cochlear sensory epithelium.	稲岡 孝敏	耳鼻咽喉科
Therapeutic Delivery	Local drug delivery to the inner ear using biodegradable materials.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
Equilibrium Research	Short-arm型後半規管BPPVが疑われた4症例の検討	田浦 晶子	耳鼻咽喉科
Otol Jpn.	内耳DDSを用いたIGF1投与による突発性難聴治療	中川 隆之	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床	人工内耳の適応に関する考察	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床	顎下リンパ節腫大を契機に発見された下顎骨原発性骨内扁平上皮癌例	伊木 健浩	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床	下咽頭癌化学放射線療法後・サルベージ手術後の高度合併症例	平野 滋	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床	頭頸部癌放射線粘膜炎に対するオピオイド投与 副作用と依存性	伊木 健浩	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床	S状静脈洞血栓症を伴った乳様突起炎例 耳鼻咽喉科臨床	平海 晴一	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床	頬骨弓根にまで進展した外耳道真珠腫例	平海 晴一	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
耳鼻臨床	髄液耳漏に対する中耳充填術	平海 晴一	耳鼻咽喉科
日気食	喉頭の再生医療	平野 滋	耳鼻咽喉科
再生医療	患者まで届いている再生医療 再生医療を応用した内耳障害の治療	坂本 達則	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報	人工内耳手術における電極入れ替え症例の検討	平海 晴一	耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報	唾液腺穿刺吸引細胞診の報告様式に関する検討 日本臨床細胞学会案の有用性について	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科
Acta Biomater	Bone bonding bioactivity of Ti metal and Ti-Zr-Nb-Ta alloys with Ca ions incorporated on their surfaces by simple chemical and heat treatments	Fukuda A	整形外科
Acta Biomater	Bone bonding ability and handling properties of a titania-polymethylmethacrylate (PMMA) composite bioactive bone cement modified with a unique PMMA powder	Fukuda C	整形外科
Acta Biomater	Effect of titania-based surface modification of polyethylene terephthalate on bone-implant bonding and peri-implant tissue reaction	Saito T	整形外科
Acta Biomater	Osteoinduction of porous Ti implants with a channel structure fabricated by selective laser melting	Fukuda A	整形外科
Acta Orthop	The long-term in vivo behavior of polymethyl methacrylate bone cement in total hip arthroplasty	Oonishi H	整形外科
Arthritis Res Ther	Prostaglandin E2 receptor type 2-selective agonist prevents the degeneration of articular cartilage in rabbit knees with traumatic instability	Mitsui H	整形外科
Bioceramics Development and Applications	Quantitative comparison of osteoconduction between porous apatite and wollastonite-containing glass-ceramics with 5 different pore sizes	Saito T	整形外科
Cytokine	IL-27-producing CD14(+) cells infiltrate inflamed joints of rheumatoid arthritis and regulate inflammation and chemotactic migration	Tanida S	整形外科
Development	Sox9 sustains chondrocyte survival and hypertrophy in part through Pik3ca-Akt pathways	Ikegami D	整形外科
Eur Spine J	A novel synthetic material for spinal fusion: a prospective clinical trial of porous bioactive titanium metal for lumbar interbody fusion	Fujibayashi S	整形外科
Genesis	A mouse reporter line to conditionally mark nuclei and cell membranes for in vivo live-imaging	Shioi G	整形外科
J Arthroplasty	Load dispersion effects of acetabular reinforcement devices used in revision total hip arthroplasty: a simulation study using finite element analysis	Kawanabe K	整形外科
J Biol Chem	SOX9 protein induces a chondrogenic phenotype of mesangial cells and contributes to advanced diabetic nephropathy	Kishi S	整形外科
J Bone Joint Surg Br	Revision total hip arthroplasty using a Kerboull-type acetabular reinforcement device with bone allograft: minimum 4.5-year follow-up results and mechanical analysis	Akiyama H	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Bone Miner Metab	Generation of transgenic mice for conditional overexpression of Sox9	Kim Y	整形外科
J Electromyogr Kinesiol	Effect of early implementation of electrical muscle stimulation to prevent muscle atrophy and weakness in patients after anterior cruciate ligament reconstruction	Hasegawa S	整形外科
J Hand Surg Am	Treatment of a type 3B hypoplastic thumb using extra phalanges from the contralateral duplicated thumb: case report	Kakinoki R	整形外科
J Neurotrauma	Effects of continuous intravenous infusion of MCI-186 on functional recovery after spinal cord injury in rats	Ohta S	整形外科
J Orthop Res	Chondroprotective effect of alendronate in a rabbit model of osteoarthritis	Shirai T	整形外科
J Orthop Res	Hyaluronan inhibits matrix metalloproteinase-13 in human arthritic chondrocytes via CD44 and P38	Juovi SM	整形外科
J Orthop Sci	Clinical outcomes of cemented double-tapered titanium femoral stems: a minimum 5-year follow-up	Akiyama H	整形外科
J Orthop Sci	A novel technique for impaction bone grafting in acetabular reconstruction of revision total hip arthroplasty using an ex vivo compaction device	Akiyama H	整形外科
J Orthop Sci	Cemented total hip arthroplasty with subtrochanteric femoral shortening transverse osteotomy for severely dislocated hips: outcome with a 3- to 10-year follow-up period	Akiyama H	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Image-matching technique can detect rotational and AP instabilities in chronic ACL-deficient knees	Nakamura S	整形外科
Mod Rheumatol	Chemokines in mesenchymal stem cell therapy for bone repair: a novel concept of recruiting mesenchymal stem cells and the possible cell sources	Ito H	整形外科
Nat Commun	Wwp2 is essential for palatogenesis mediated by the interaction between Sox9 and mediator subunit 25	Nakamura Y	整形外科
Nat Genet	Continuous cell supply from a Sox9-expressing progenitor zone in adult liver, exocrine pancreas and intestine	Furuyama K	整形外科
Oncogene	Identification of AFAP1L1 as a prognostic marker for spindle cell sarcomas	Furu M	整形外科
PLoS One	Sequential and coordinated actions of c-Myc and N-Myc control appendicular skeletal development	Zhou ZQ	整形外科
Rheumatol Int	Objective assessment of abnormal gait in patients with rheumatoid arthritis using a smartphone	Yamada M	整形外科
Spine	A bioactive and bioresorbable porous cubic composite scaffold loaded with bone marrow aspirate: a potential alternative to autogenous bone grafting	Tanaka K	整形外科
Spine	Impact of the O-C2 angle on the oropharyngeal space in normal patients	Ota M	整形外科
Spine	Doppler ultrasonography and CT angiography demonstrate positional occlusion of vertebral artery associated with one-sided destruction of the atlantoaxial lateral mass caused by rheumatoid arthritis: a case report	Yoshitomi H	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	Positional reproducibility of pancreatic tumors under end-exhalation breath-hold conditions using a visual feedback technique.	Nakamura M	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	Analysis of Dosimetric Parameters Associated With Acute Gastrointestinal Toxicity and Upper Gastrointestinal Bleeding in Locally Advanced Pancreatic Cancer Patients Treated With Gemcitabine-Based Concurrent Chemoradiotherapy.	Nakamura M	放射線治療科
Int J Clin Oncol.	Detailed dosimetric evaluation of intensity-modulated radiation therapy plans created for stage C prostate cancer based on a planning protocol.	Norihisa Y	放射線治療科
Med Phys.	Positioning accuracy of a new image-guided radiotherapy system.	Miyabe Y	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	Dosimetric advantage of intensity-modulated radiotherapy for whole ventricles in the treatment of localized intracranial germinoma.	Sakanaka K	放射線治療科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	Interfractional reproducibility in pancreatic position based on four-dimensional computed tomography.	Shiinoki T	放射線治療科
J Thorac Oncol.	Preliminary report of late recurrences, at 5 years or more, after stereotactic body radiation therapy for non-small cell lung cancer.	Matsuo Y	放射線治療科
Int J Clin Oncol.	Long-term outcomes of three-dimensional conformal radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for Japanese patients with T1c-T2N0M0 prostate cancer.	Mizowaki T	放射線治療科
Med Dosim.	Experimental validation of heterogeneity-corrected dose-volume prescription on respiratory-averaged CT images in stereotactic body radiotherapy for moving tumors.	Nakamura M	放射線治療科
Radiol Phys Technol.	Simulation for improvement of system sensitivity of radiochromic film dosimetry with different band-pass filters and scanner light intensities.	Kamomae T	放射線治療科
Am J Roentgenol	Comparison of uterine peristalsis before and after uterine artery embolization at 3-T MRI.	Kido A	放射線診断科
Clin Imaging	Contrast behavior of high-spatial-resolution T1-weighted MR imaging at 3.0 T vs. 1.5 T.	Isoda H	放射線診断科
Neuroradiology	Diagnosis of moyamoya disease using 3-T MRI and MRA: value of cisternal moyamoya vessels.	Sawada T	放射線診断科
Jpn J Radiol	Rosette-forming glioneuronal tumor of the fourth ventricle with bilateral olivary degeneration.	Fushimi Y	放射線診断科
Radiology	Apparent diffusion coefficient as an MR imaging biomarker of low-risk ductal carcinoma in situ: a pilot study.	Iima M	放射線診断科
Eur J Radiol	Hepatic arterial perfusion increases in the early stage of severe acute pancreatitis patients: evaluation by perfusion computed tomography.	Koyasu S	放射線診断科
Clin Radiol	Whole-heart coronary MR angiography under a single breath-hold: a comparative study with respiratory-gated acquisition using a multi-element phased-array coil.	Okada T	放射線診断科
J Anesth	Successful perioperative management of a patient with primary systemic carnitine deficiency: a case report.	加藤 果林	麻酔科
J Anesth	Dual modulation of the T-cell receptor-activated signal transduction pathway by morphine in human T lymphocytes.	溝田 敏幸	麻酔科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anesth	Microglial activation involved in morphine tolerance is not mediated by toll-like receptor 4.	深川 博志	麻酔科
Ann Transplant	Pre transplant serum magnesium level predicts outcome after pediatric living donor liver transplantation.	Elgendy HM	麻酔科
Liver Transpl	The use of noninvasive ventilation for pediatric patients following liver transplantation: Decrease in the need for reintubation.	村瀬 公彦	麻酔科
Korean J Anesthesiol	Takotsubo cardiomyopathy during ambulatory anesthesia for bladder hydrodistension therapy -A case report-	山下 和人	麻酔科
PLoS One	General anesthetics inhibit erythropoietin induction under hypoxic conditions in the mouse brain.	田中 具治	麻酔科
Antioxid Redox Signal	Hydrogen sulfide inhibits hypoxia- but not anoxia-induced hypoxia-inducible factor 1 activation in a von hippel-lindau and mitochondria-dependent manner.	甲斐 慎一	麻酔科
Liver Transpl	Pattern of bacterial and fungal infections in the first 3 months after pediatric living donor liver transplantation: an 11-year single-center experience.	Nafady-Hego H	麻酔科
Eur J Pharmacol	Fentanyl activates hypoxia-inducible factor 1 in neuronal SH-SY5Y cells and mice under non-hypoxic conditions in a μ -opioid receptor-dependent manner.	大条 紘樹	麻酔科
Islets	Augmented damage of islets by impaired exocrine acinar cells undergoing apoptosis that is possibly converted to necrosis during isolation.	Elgendy H	麻酔科
Ann Plast Surg	The combined use of hyoid bone flap and radial forearm free flap for reconstruction following partial laryngopharyngectomy.	Yamawaki S	形成外科
J Surg Res	The utilization of animal product-free media and autologous serum in an autologous dermal substitute culture.	Morimoto N	形成外科
Ann Plast Surg	Comparisons of the functional postoperative abdominal muscle outcomes and the biomechanical properties among different subtypes of MS-TRAM flap.	Guo J	形成外科
Ann Plast Surg	Non-incisional osteotomy for gradual lengthening by callus distraction in the hand and foot.	Arata J	形成外科
Ann Plast Surg	Keloids can be forced into remission with surgical excision and radiation followed by adjuvant therapy	Yamawaki S	形成外科
Ann Plast Surg	Efficacy of novel collagen/gelatin scaffold sustained release of basic fibroblast growth factor for dermis-like tissue regeneration.	Kanda N	形成外科
J Surg Res	Collagen-Gelatin Scaffold Impregnated with bFGF Accelerates Palatal Wound Healing of Palatal Mucosa in Dogs.	Ayvazyan A	形成外科
Am J Transl Res	An exploratory clinical trial for combination wound therapy with a novel medical matrix and fibroblasts growth factor in patients with chronic skin ulcers: a study protocol.	Morimoto N	形成外科
J Orthop Sci	A feasibility study for evaluation of mechanical properties of articular cartilage with a two-electrode electric impedance method.	Morita Y	形成外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2012 Feb 3.	A novel detachable filter to prevent thromboembolism during endovascular surgery.	Uehara K	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Transpl Int 2012;25:956-966	Telomere shortening and karyotypic alterations in hepatocytes in long-term transplanted human liver allografts.	Aini W	病理診断科
Pediatr Transplant 2011 Aug 10	Liver transplantation for severe hepatitis in patients with common variable immunodeficiency.	Murakawa Y	病理診断科
Hum Pathol 2011; 42:1329-1336	Frequent overlap of active hepatitis in recurrent primary sclerosing cholangitis after living donor liver transplantation related to its rapidly progressive course.	Miyagawa-Hayashino A	病理診断科
American journal of pathology 2011 Mar;178 (3) :1374-86.	Murine leukemia retrovirus integration induces the formation of transcription factor complexes on palindromic sequences in the signal transducer and activator of transcription factor 5a gene during the development of pre-B lymphomagenesis.	Tsuruyama T	病理診断科
Retrovirology 2011, October, 8 (Suppl 2)	In vitro HIV-1 selective integration into the target sequence and decoy-effect of the modified sequence.	Tsuruyama T	病理診断科
PLoS One 2012, February 147 (2) e31533	In Vitro Murine Leukemia Retroviral Integration and Structure Fluctuation of Target DNA. PLoS One 2012; 7 (2) e31533.	Tsuruyama T	病理診断科
Transplant International 2012, March 25 (5) :537-44.	Invariant NKT cells infiltrate intestinal allografts undergoing acute cellular rejection.	Tsuruyama T	病理診断科
Biochemistry, ISBN: 978-953-51-0076-8, 305-321頁	HIV-1 Selectively Integrates Into Host DNA In Vitro.	Tsuruyama T	病理診断科
Nihon Naika Gakkai Zasshi 2011 ;100:2509- 2516.	108th Scientific Meeting of the Japanese Society of Internal Medicine: symposium: 2. Correlation between pulmonary diseases and whole body; (3) sleep apnea syndrome and life style related diseases.	Chin K	呼吸管理睡眠制御学講座
Liver Transpl 2011;17:144-148.	Immediate noninvasive ventilation may improve mortality in patients with hepatopulmonary syndrome after liver transplantation.	Chihara Y	呼吸管理睡眠制御学講座
J Sleep Res 2011; 20:538-543.	Effects of the presence of hypertension on the relationship between obstructive sleep apnoea and sleepiness.	Harada Y	呼吸管理睡眠制御学講座
Respir Med 2011;105:939-945.	Comparison of biomarkers of subclinical lung injury in obstructive sleep apnea.	Aihara K	呼吸管理睡眠制御学講座
Intern Med 2011;50:563-570.	PaCO2 six months after the initiation of long-term noninvasive ventilation in patients with COPD.	Tsuboi T	呼吸管理睡眠制御学講座
Mov Disord 2011;26:1509-1514.	Increased cortical hyperexcitability and exaggerated myoclonus with aging in benign familial myoclonus epilepsy.	Hitomi T	呼吸管理睡眠制御学講座
Clin Neurophysiol 2011;122:1617-1621.	Decreased cortical excitability in Unverricht-Lundborg disease in the long-term follow-up: a consecutive SEP study.	Kobayashi K	呼吸管理睡眠制御学講座
Intern Med 2011;50:1157-1162.	Transient myoclonic state with asterixis: primary motor cortex hyperexcitability is correlated with myoclonus.	Hitomi T	呼吸管理睡眠制御学講座
Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 2011;6:365- 372.	Clinical pathway for acute exacerbations of chronic obstructive pulmonary disease: method development and five years of experience.	Nishimura K	呼吸管理睡眠制御学講座
Respir Res 2011;12:135.	Airflow limitation or static hyperinflation: which is more closely related to dyspnea with activities of daily living in patients with COPD?	Nishimura K	呼吸管理睡眠制御学講座
Nat Chem Biol 2011;7:701-711.	TRPA1 underlies a sensing mechanism for O2.	Takahashi N	呼吸管理睡眠制御学講座

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 2011;6:521-526.	Predictive properties of different multidimensional staging systems in patients with COPD.	Oga T	呼吸管理睡眠制御学講座
Blood Cancer Journal	AV-65, a novel Wnt/ β -catenin signal inhibitor, successfully suppresses progression of multiple myeloma in a mouse model.	Hisayuki Yao	輸血細胞治療部
PLoS One	15-Deoxy- $\Delta^{12,14}$ prostaglandin J ₂ reduces the formation of atherosclerotic lesions in apolipoprotein E knockout mice.	Takahiro Seno	輸血細胞治療部
Proc Natl Acad Sci U S A	Galectin-3 (Gal-3) induced by leukemia microenvironment promotes drug resistance and bone marrow lodgment in chronic myelogenous leukemia.	Mio Yamamoto-Sugitani	輸血細胞治療部
Cancer Letter	Growth inhibition of imatinib-resistant CML cells with the T315I mutation and hypoxia-adaptation by AV65—a novel Wnt/ β -catenin signaling inhibitor.	Rina Nagao	輸血細胞治療部
Cancer Letter	Rapid automated detection of ABL kinase domain mutations in imatinib-resistant patients.	Ruriko Tanaka	輸血細胞治療部
Oncogene	Combined effects of novel heat shock protein 90 inhibitor NVP-AUY922 and nilotinib in a random mutagenesis screen.	Tetsuzo Tauchi	輸血細胞治療部
Nanomedicine	Single-step, label-free quantification of antibody in human serum for clinical applications based on localized surface plasmon resonance.	Junta Yamamichi	輸血細胞治療部
Chemistry & Biology	Identification of a small-molecule inhibitor of DNA topoisomerase II by proteomic profiling.	Makoto Kawatani	輸血細胞治療部
International Journal of Cancer	Antitumor effect of sunitinib against skeletal metastatic renal cell carcinoma through inhibition of osteoclast function.	Shinya Maita	輸血細胞治療部
Jan J Clin Pharmacol Therapeutics 2011 41:21-25	Trend analysis of informed consent in clinical trials; Comprehensive retrieval via electronic databases.	Hatta T	探索医療センター
Cancer Chemotherapy and Pharmacology	A phase I/II study of gemcitabine-based chemotherapy plus curcumin for patients with gemcitabine-resistant pancreatic cancer.	金井 雅史	外来化学療法部
British Journal of Cancer	Temporary blood pressure drop after bevacizumab administration is associated with clinical course of advanced colorectal cancer.	金井 雅史	外来化学療法部
Cancer Chemotherapy and Pharmacology	Dose-escalation and pharmacokinetic study of nanoparticle curcumin, a potential anticancer agent with improved bioavailability, in healthy human volunteers.	金井 雅史	外来化学療法部
Pharm Res	Effects of metabolic acidosis on expression levels of renal drug transporters	阿榮 高娃	薬剤部
医療薬学	進行肝細胞がん患者におけるソラフェニブの服薬継続ならびに有害事象発現に及ぼす影響因子の検討	下雅意 彩	薬剤部
Br J Pharmacol	Importance of the multidrug and toxin extrusion MATE/SLC47A family to pharmacokinetics, pharmacodynamics/toxicodynamics and pharmacogenomics.	米澤 淳	薬剤部
Eur J Clin Pharmacol	Significance of trough monitoring for tacrolimus blood concentration and calcineurin activity in adult patients undergoing primary living-donor liver transplantation	矢野 育子	薬剤部
J Clin Gastroenterol	Tacrolimus therapy as an alternative to thiopurines for maintaining remission in patients with refractory ulcerative colitis	増田 智先	薬剤部

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Clin Lung Cancer	Plasma and pleural fluid pharmacokinetics of erlotinib and its active metabolite OSI-420 in patients with non-small-cell lung cancer with pleural effusion	福土 将秀	薬剤部
Cancer Chemother Pharmacol	Efficacy of increased-dose erlotinib for central nervous system metastases in non-small cell lung cancer patients with epidermal growth factor receptor mutation	福土 将秀	薬剤部
移植	タクロリムス血中濃度測定法の差異に関する臨床的評価：M E I A、C L I A、A C M I A、E M I T 間の比較検討	端 幸代	薬剤部

小計
3計
344

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 三嶋 理晃	
管理担当者氏名	薬剤部長 松原 和夫 医務課長 中村 正次 医療サービス課長 金永 博行 感染制御部長 一山 智	総務課長 千葉 正勝 医療安全管理室長 松村 由美 医療情報部長 吉原 博幸 医療器材部長 上本 伸二

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録		各診療科 及び 医務課	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年9月より一部の診療科を除いて入院カルテは廃止し、入院中に発生した紙媒体の診療記録等データについては外来カルテの中に入院関係分として設けた区分の所に時系列に綴じ込んだ上で、1患者1カルテとして病歴管理室で保管。 外来カルテは、1患者1カルテであり、病歴管理室で保管。 電子化されたカルテ（入院及び外来カルテ）は1患者1カルテであり、電算機室で保管。 エックス線写真は過去5年（当該年を含めて実施6年間分）を病歴管理室内のフィルムスペースにて保管。なお、CT及びMRIフィルムについては平成21年12月7日（月）撮影分以降よりフィルムレス化となり、現物保管は行っていない。 	
エックス線写真				医務課
処方せん				薬剤部
病院日誌				総務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
	高度の医療の実績	医務課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課		
	高度の医療の研修の実績	総務課		
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部		

(様式第12)

		保 管 場 所	管 理 方 法
掲規 げ則 る第 一 条 の 十 一 項 の 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に	医療に係る安全管理の ための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理の ための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理の ための職員研修の実施状 況	医療安全管理室	
	医療機関内における事 故報告等の医療に係る安 全の確保を目的とした改 善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全 管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を 行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を 行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談に 適切に応じる体制の確保 状況	医療サービス課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病 院 の 管 運 営 及 び 諸 記 録	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院 内 感 染 対 策 の た め の 指 針 の 策 定 状 況	感 染 制 御 部
		院 内 感 染 対 策 の た め の 委 員 会 の 開 催 状 況	感 染 制 御 部
		従 業 者 に 対 す る 院 内 感 染 対 策 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	感 染 制 御 部
		感 染 症 の 発 生 状 況 の 報 告 そ の 他 の 院 内 感 染 対 策 の 推 進 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	感 染 制 御 部
		医 薬 品 の 使 用 に 係 る 安 全 な 管 理 の た め の 責 任 者 の 配 置 状 況	薬 剤 部
		従 業 者 に 対 す る 医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	薬 剤 部
		医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め の 業 務 に 関 す る 手 順 書 の 作 成 及 び 当 該 手 順 書 に 基 づ く 業 務 の 実 施 状 況	薬 剤 部
		医 薬 品 の 安 全 使 用 の た め に 必 要 と な る 情 報 の 収 集 そ の 他 の 医 薬 品 の 安 全 使 用 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	薬 剤 部
		医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め の 責 任 者 の 配 置 状 況	医 療 器 材 部
		従 業 者 に 対 す る 医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め の 研 修 の 実 施 状 況	医 療 器 材 部
		医 療 機 器 の 保 守 点 検 に 関 す る 計 画 の 策 定 及 び 保 守 点 検 の 実 施 状 況	医 療 器 材 部
医 療 機 器 の 安 全 使 用 の た め に 必 要 と な る 情 報 の 収 集 そ の 他 の 医 療 機 器 の 安 全 使 用 を 目 的 と し た 改 善 の た め の 方 策 の 実 施 状 況	医 療 器 材 部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 加藤 健
閲覧担当者氏名	総務課長 千葉 正勝
閲覧の求めに応じる場所	総務課内

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.0 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,338人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,398人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,054人
	D: 初診の患者の数		23,848人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の基本理念 2. 院内の責任体制及び管理体制の明確化 3. 安全管理のための各種委員会の設置及びリスクマネージャーの配置並びに医療安全管理室の設置 4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 5. 医療事故発生時における対応について 6. 医療安全における大学間・病院間・地域間連携 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故を防止する方策の検討及び実施 2. 医療事故防止マニュアル等の策定・改善・普及等 3. 発生した医療事故又は発生する危険のあった医療事故等に関する情報収集及び分析並びに防止のための改善策の検討・実施 4. 医療事故防止のための研修・講習・教育等の実施 5. 重要事例の対応決定 6. その他医療事故の防止に関する全般事項 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 29 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>【全職種対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成23年4月28日「知っておくと役に立つ 麻薬の安全・安心な取り扱い」 講師：本院薬剤管理ワーキング 松村由美委員長代理 参加人数：434名 ○平成23年5月20日「薬剤オーダーリングシステムと使用上の注意点」 「薬剤部にてミキシングを行う注射薬オーダー時の注意点」 講師：本院薬剤部 深津祥央・小林政彦副薬剤部長 参加人数：404名 ○平成23年6月27日「暴言・暴力への対応について」 講師：本院医療サービス課 参加人数：683名 ○平成23年7月6日「防ごう！医療事故によるスキントラブル」 講師：本院褥瘡対策チーム 褥瘡専従管理者 看護師長 三富陽子 参加人数：376名 ○平成23年7月11日「暴言・暴力への対応について」 講師：本院医療サービス課 参加人数：186名 ○平成23年9月5日「輸血拒否患者（エホバの証人）に対する本院の基本方針」 講師：本院輸血細胞治療部 部長 前川 平 参加人数：234名 ○平成23年9月20日「説明義務違反ってどういうこと？：カルテ記載の留意点」 講師：本院医療安全管理室 松村由美 室長 参加人数：317名 ○平成23年10月7日「輸血拒否患者（エホバの証人）に対する本院の基本方針」 講師：本院輸血細胞治療部 部長 前川 平 参加人数：179名 ○平成23年10月14日「説明義務違反ってどういうこと？：カルテ記載の留意点」 講師：本院医療安全管理室 松村由美 室長 参加人数：143名 ○平成23年11月10日「転倒・転落の現状」 「患者さんの血圧下がりがありませんか？～高齢者における転倒リスクと降圧薬との関係～」 講師：医学研究科 人間健康科学系専攻 荒井秀典 講師：医療安全管理室 専任看護師長 辻田麻衣子 参加人数：241名 ○平成23年11月24日「みんなでつくろうクリニカルパス～便利で簡単！標準化」 講師：本院呼吸器外科 助教 佐藤寿彦 講師：本院医療情報管理掛 上田善紀 講師：本院看護部管理室室長 疋田智子 講師：本院積4副師長 保谷麗子 講師：本院眼科 医員高橋綾子 参加人数：218名 ○平成23年12月1日・12月13日「みんなで取り組む院内感染対策と医療安全」 講師：医療安全管理部 部長 一山智 講師：医療安全管理室 室長 松村由美 参加人数：189名 ○平成23年12月9日「睡眠と業務の質」 講師：Dr. Najib Ayas (ナジブ アヤス) 参加人数：173名 ○平成24年1月30日「知っておくと役に立つ 麻薬の安全・安心な取り扱い～マニュアル第2版のご紹介～」 講師：本院医療安全管理室 室長 松村由美 講師：本院薬剤部 副薬剤部長 山田和司 講師：本院医療安全管理室 GRM 辻田麻衣子 参加人数：285名 ○平成24年2月9日「本院における臨床工学技士の体制の現状と4月以降の対応について」 講師：本院医療器材部 リスクマネージャー 助教 角山正博 参加人数：156名 ○医療安全に関するビデオ上映会 ・平成23年4月18日「院内蘇生について2～身につけよう、有効な胸骨圧迫とAEDの使い方！」 (平成22年10月26日開催分) 講師：京都大学 保健管理センター 石見拓助教 参加人数：32名 ・平成23年11月25日「知っておくと役に立つ 麻薬の安全・安心な取り扱い」 (平成23年4月開催分) 講師：本院薬剤管理ワーキング 委員長代理 松村由美 参加人数：52名 ・平成23年11月29日「今、インスリン安全管理マニュアルを振り返る～チームで防ごうインスリンエラー～」 (平成23年3月開催分) 講師：本院北病棟1階 大倉瑞代 副看護師長(糖尿病看護認定看護師) 参加人数：61名 ・平成24年2月8日「説明義務違反ってどういうこと？：カルテ記載の留意点」 「転倒・転落の現状」 「患者さんの血圧下がりがありませんか？～高齢者における転倒リスクと降圧薬との関係～」 講師：本院医療安全管理室 松村由美 室長 講師：医学研究科 人間健康科学系専攻 荒井秀典 講師：医療安全管理室 専任看護師長 辻田麻衣子 	

【医師対象】

- 研修医内定者オリエンテーション
 - ・平成23年4月1日 講師：松村医療安全管理室長 参加人数：176名
 - ・平成23年10月28日 講師：徳峯川鉄千葉病院麻酔科部長 参加人数：14名
 - ・平成23年11月11日 講師：松村医療安全管理室長 参加人数：13名

【看護師対象】

- 看護部新規採用者オリエンテーション
 - ・平成23年4月6日 講師：足立看護師長 参加人数：142名
- 中途採用者研修
 - ・平成23年5月2日 講師：辻田看護師長 (GRM) 参加人数：3名
 - ・平成23年7月1日 講師：辻田看護師長 (GRM) 参加人数：4名
 - ・平成23年8月1日 講師：辻田看護師長 (GRM) 参加人数：3名
 - ・平成23年9月1日 講師：辻田看護師長 (GRM) 参加人数：3名
 - ・平成23年10月3日 講師：辻田看護師長 (GRM) 参加人数：5名

【緊急】

- 麻薬紛失に関するインシデント報告を受けて、リスクマネージャー及び看護師長を対象とした緊急医療安全講習会を開催した。
- ・平成23年11月7日
 - ・平成23年11月15日
 - ・平成23年11月30日
- 講師：医療安全管理室 室長 松村山美
 講師：医療安全管理室 専任看護師長 辻田麻衣子
 講師：薬剤部 副部長 山田和司
- 参加人数：115名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無)	
・ その他の改善のための方策の主な内容：	
1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業	
2. 安全に関する部門連携・委員会活動	
・ 医療安全管理委員会の定期開催	
・ リスクマネージャー会議の定期開催	
・ 薬剤関連インシデント検討会の定期開催	
・ 安全管理室への研修医ローテーションの定期開催	
・ 各診療科RMとのインシデント検討会の定期開催	
・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催	
3. 職員への安全教育	
・ 講演会・講習会・ビデオ上映・院内事例報告会	
・ インシデントニュースの配信	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (5 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・ 所属職員： 専任(2)名 兼任(8)名	
・ 活動の主な内容：	
1. 医療事故発生時の初動対応と事例調査	
2. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業	
3. 各部門からのインシデント・アクシデントレポート収集と、サーベイランス・分析・対策立案	
4. 医療安全に関する部門連携・委員会活動	
5. 職員、学生等への医療安全教育	
6. 医療安全における大学間・病院間・地域間連携	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応	(有) ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無																																																				
指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 関連委員会及び会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容 教育、サーベイランス等 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 ・ 患者等に対する指針の閲覧に関する方針 																																																					
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 40 回																																																				
活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症予防対策委員会 1回/月 ・ 感染制御部（ICT）会議 2回/月 ・ 感染対策業務会議 4回/月 																																																					
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 26 回																																																				
研修の主な内容： <table border="1" data-bbox="231 913 1465 2049" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名称</th> <th style="width: 20%;">日付</th> <th style="width: 45%;">内容</th> <th style="width: 10%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年4月6日</td> <td>新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。</td> <td>142名</td> </tr> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年4月25日</td> <td>感染管理の基本</td> <td>41名</td> </tr> <tr> <td>院内感染対策講習会</td> <td>平成23年6月6日</td> <td>みんなで取り組む院内感染対策と医療安全</td> <td>553名</td> </tr> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年6月13日</td> <td>防護用具着脱勉強会</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>中途採用者 オリエンテーション</td> <td>平成23年5月1日、6月1日、 7月1日、7月19日、 8月1日、8月16日、</td> <td>京大病院の院内感染対策について</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>中途採用者 オリエンテーション</td> <td>平成23年11月11日</td> <td>京大病院の院内感染対策について</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>院内感染対策講習会</td> <td>平成23年7月21日、8月9日</td> <td>今話題の食中毒菌と感染性胃腸炎 に対する院内感染対策について</td> <td>663名</td> </tr> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年8月4日、8月5日</td> <td>京大病院の院内感染対策について</td> <td>63名</td> </tr> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年10月21日</td> <td>南4階・HCUで急増しているプラ スミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i></td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>院内感染対策講習会</td> <td>平成23年10月21日、10月25日</td> <td>粉塵対策とアスペルギルス症につ いて</td> <td>502名</td> </tr> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年10月27日</td> <td>病児保育室</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>職員対象講習会</td> <td>平成23年10月25日</td> <td>南4階・HCUで急増しているプラ スミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i></td> <td>35名</td> </tr> </tbody> </table>		名称	日付	内容	参加者数	職員対象講習会	平成23年4月6日	新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。	142名	職員対象講習会	平成23年4月25日	感染管理の基本	41名	院内感染対策講習会	平成23年6月6日	みんなで取り組む院内感染対策と医療安全	553名	職員対象講習会	平成23年6月13日	防護用具着脱勉強会	36名	中途採用者 オリエンテーション	平成23年5月1日、6月1日、 7月1日、7月19日、 8月1日、8月16日、	京大病院の院内感染対策について	33名	中途採用者 オリエンテーション	平成23年11月11日	京大病院の院内感染対策について	38名	院内感染対策講習会	平成23年7月21日、8月9日	今話題の食中毒菌と感染性胃腸炎 に対する院内感染対策について	663名	職員対象講習会	平成23年8月4日、8月5日	京大病院の院内感染対策について	63名	職員対象講習会	平成23年10月21日	南4階・HCUで急増しているプラ スミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i>	10名	院内感染対策講習会	平成23年10月21日、10月25日	粉塵対策とアスペルギルス症につ いて	502名	職員対象講習会	平成23年10月27日	病児保育室	5名	職員対象講習会	平成23年10月25日	南4階・HCUで急増しているプラ スミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i>	35名
名称	日付	内容	参加者数																																																		
職員対象講習会	平成23年4月6日	新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術を習得する。	142名																																																		
職員対象講習会	平成23年4月25日	感染管理の基本	41名																																																		
院内感染対策講習会	平成23年6月6日	みんなで取り組む院内感染対策と医療安全	553名																																																		
職員対象講習会	平成23年6月13日	防護用具着脱勉強会	36名																																																		
中途採用者 オリエンテーション	平成23年5月1日、6月1日、 7月1日、7月19日、 8月1日、8月16日、	京大病院の院内感染対策について	33名																																																		
中途採用者 オリエンテーション	平成23年11月11日	京大病院の院内感染対策について	38名																																																		
院内感染対策講習会	平成23年7月21日、8月9日	今話題の食中毒菌と感染性胃腸炎 に対する院内感染対策について	663名																																																		
職員対象講習会	平成23年8月4日、8月5日	京大病院の院内感染対策について	63名																																																		
職員対象講習会	平成23年10月21日	南4階・HCUで急増しているプラ スミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i>	10名																																																		
院内感染対策講習会	平成23年10月21日、10月25日	粉塵対策とアスペルギルス症につ いて	502名																																																		
職員対象講習会	平成23年10月27日	病児保育室	5名																																																		
職員対象講習会	平成23年10月25日	南4階・HCUで急増しているプラ スミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i>	35名																																																		

職員対象講習会	平成23年11月11日	南4階・HCUで急増しているプラスミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i>	8名
院内感染対策講習会	平成23年11月21日、11月28日	血管内留置カテーテル関連血流感染の予防と治療	473名
職員対象講習会	平成23年11月25日	病院における感染防止	18名
レベルアップ講習会	平成23年11月28、29、30日	・感染管理に必要な感染症学、微生物学、洗浄、消毒、滅菌に関する知識、感染防止技術の習得	12名
院内感染対策講習会	平成23年12月19日	MRSAの制御	200名
院内感染対策講習会	平成24年1月12日	微生物学的検査の検体採取と保存について	174名
院内感染対策講習会	平成24年2月13日	日常診療におけるHIV-1感染症	185名
職員対象講習会	平成24年2月14日、2月16日	血管内カテーテル由来感染予防のCDCガイドライン	18名
院内感染対策講習会	平成24年2月21日	血液腫瘍内科におけるメタロβラクタマーゼ産生多剤耐性緑膿菌	225名
職員対象講習会	平成24年2月21日	カルバペネムの適正使用について	22名
職員対象講習会	平成24年2月21日	血液腫瘍内科における中心静脈カテーテル関連感染の発生率減少に向けたケアバンドルの効果	18名
職員対象講習会	平成24年3月5日	南4階・HCUで急増したプラスミド性AmpC産生 <i>Klebsiella pneumoniae</i> とESBL産生菌	33名
院内感染対策講習会	平成24年3月6日	院内での疥癬発生時の対応、手指衛生と標準予防策	263名
職員対象講習会	平成24年3月21日、3月23日	清掃業務における感染防止	94名

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備

(有)・無)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 感染対策サーベイランスの実施
 - ・ 薬剤耐性菌サーベイランス
 - ・ カテーテル関連血流感染サーベイランス
 - ・ 手術部位感染サーベイランス
 - ・ 感染性胃腸炎サーベイランス
 - ・ 上気道症状サーベイランス
2. 職業感染防止と曝露後の対応
 - ・ 針刺しの原因分析と防止対策
 - ・ 抗体価の確認とワクチン接種
 - ・ 曝露後の対応（血液体液曝露、結核、麻疹、水痘等）

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無																										
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 19 回																										
<p>・ 研修の主な内容： 医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。</p> <p>○全職種を対象 (医薬品の安全使用のための研修会) 日時：平成23年5月20日(金) 17:20～(約1時間程度) (医薬品の安全使用のための研修会) 日時：平成24年1月30日(月)、2月2日(木)、2月9日(木) 17:15～(約1時間程度)</p> <p>○全病棟医長・全病棟看護師長・全部局リスクマネージャーを対象 日時：平成23年11月7日(月)、15日(火)、30日(水)の3回(約30分程度) 場所：臨床第二講堂</p> <p>○薬剤師を対象 (医薬品の安全使用のための説明会) 新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明と位置付け及び添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取り扱い等についての説明と情報の共有化を図っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催年月日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成23年4月4日(月)</td><td>48名</td></tr> <tr><td>平成23年5月6日(金)</td><td>44名</td></tr> <tr><td>平成23年6月6日(水)</td><td>48名</td></tr> <tr><td>平成23年7月4日(月)</td><td>44名</td></tr> <tr><td>平成23年8月5日(金)</td><td>46名</td></tr> <tr><td>平成23年9月7日(水)</td><td>43名</td></tr> <tr><td>平成23年10月7日(金)</td><td>38名</td></tr> <tr><td>平成23年11月4日(金)</td><td>37名</td></tr> <tr><td>平成23年12月2日(金)</td><td>37名</td></tr> <tr><td>平成24年1月12日(木)</td><td>38名</td></tr> <tr><td>平成24年2月3日(金)</td><td>41名</td></tr> <tr><td>平成24年3月1日(水)</td><td>34名</td></tr> </tbody> </table>		開催年月日	参加人数	平成23年4月4日(月)	48名	平成23年5月6日(金)	44名	平成23年6月6日(水)	48名	平成23年7月4日(月)	44名	平成23年8月5日(金)	46名	平成23年9月7日(水)	43名	平成23年10月7日(金)	38名	平成23年11月4日(金)	37名	平成23年12月2日(金)	37名	平成24年1月12日(木)	38名	平成24年2月3日(金)	41名	平成24年3月1日(水)	34名
開催年月日	参加人数																										
平成23年4月4日(月)	48名																										
平成23年5月6日(金)	44名																										
平成23年6月6日(水)	48名																										
平成23年7月4日(月)	44名																										
平成23年8月5日(金)	46名																										
平成23年9月7日(水)	43名																										
平成23年10月7日(金)	38名																										
平成23年11月4日(金)	37名																										
平成23年12月2日(金)	37名																										
平成24年1月12日(木)	38名																										
平成24年2月3日(金)	41名																										
平成24年3月1日(水)	34名																										
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	(有) ・ 無																										
<p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用に関すること 2. 医薬品の購入に関すること 3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること 4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること 5. 外来患者への医薬品使用に関すること 6. 病棟における医薬品の管理に関すること 7. 入院患者への医薬品使用に関すること 8. 医薬品の適正使用に関すること 9. 医薬品の安全使用に係る情報に関すること 10. 他施設(医療機関・薬局等)との連携に関すること <p>以上の業務内容について、平成24年1月12日(木)に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。各病棟における調査者は病棟担当薬剤師、R I棟は安全管理担当副部長、薬剤部内の調査者は各担当掛長とした。調査結果および改善が必要な点については改善指導等の実施状況を書面で報告してもらい、記録として保存した。</p>																											

<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 院内に新規採用された医薬品について、採用されてから6ヶ月後および1年後に採用依頼医師に (2) 入院患者への薬剤管理指導を通して医薬品の安全使用のために必要な情報を収集している。そこ (3) 医療安全管理担当として副薬剤部長1名が兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院 (4) 門前薬局及び京都府下の応需保険薬局を対象として、医薬分業研修会を開催し、がん化学療法等 (5) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤 (6) 全職員を対象に、アラートメールを通じた医薬品等安全性情報、緊急安全性情報等の配布、緊急 (7) 医師との連携により、外来の院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を (8) 本院のチーム医療検討委員会による支援のもと、チーム医療と関連業務についてカンファレンス ・平成23年6月2日(木) 午後5時半～7時 場所 臨床第1講堂 「摂食嚥下障害に対するチーム医療」 演題6.嚥下困難患者に対する薬剤投与の工夫 吉田 優子(薬剤師)</p>

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 34 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用 方法について研修を実施 ・ 平成23年度中に計28回、医師・看護師・臨床工学技師を対象として人工呼吸器・ 人工透析装置・人工心肺装置等の使用方法、安全対策についての研修を実施 ・ 平成23年7月(1回)・12月(1回)に診療放射線発生装置等に対する医療機器安全使用 のための研修を実施 ・ 平成23年5月(1回)・7月(1回)・9月(1回)・平成24年3月(1回)に診療用高エネルギー 放射線発生装置に対する医療機器安全使用のための研修を実施 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有 ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 各医療機器の点検周期に添って臨床工学技師による点検とメーカーによる点検を実施している。 →臨床工学技師の点検では、バッテリー・各種センサー・フィルター等の定期交換を実施している。 →高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。 ・ 放射線機器については点検実施計画を作成し、各部門担当者を決め定期的に点検 を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>医療機器に関する安全性情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。</p> <p>医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一統を推し進めている。</p> <p>医療機器関連のインシデント・アクシデント報告の周知と改善策の検討を行っている</p> <p>メーカー及び学会からの安全情報の周知とPMDAの医療機器情報の確認を行っている。</p> <p>医療機器の添付文章の現場確認と電子化を行っている。</p> 	